

家庭用

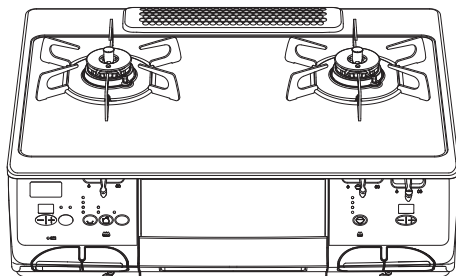
Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

据置型ガラストップコンロ 取扱説明書 保証書付

型番

210-H050型

210-H051型



このたびは、大阪ガスの据置型ガラストップコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

Siセンサーコンロについて

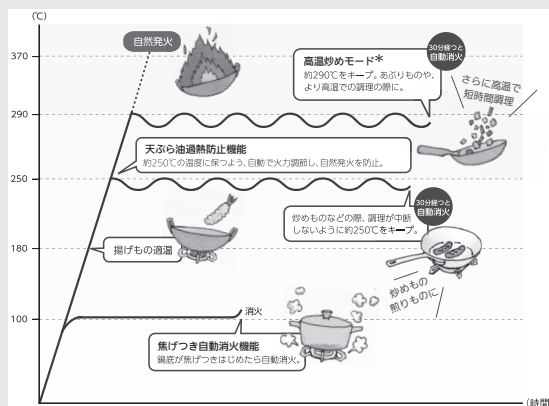
Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

全車センサー搭載

安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、 自動的にガスを止めます！	立消え安全装置
◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します！	消し忘れ消火機能
◎天ぷら油の過熱を未然に防止します！	調理油過熱防止装置 (天ぷら油過熱防止機能)
◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、 自動消火します！	焦げつき自動消火機能

●温度センサーのはたらき



*高温炒めモードとは

- ・通常時より高い温度まで調理できる機能です。(チャオコンロ)
高温炒めモードを使用しても、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油割れ防止機能、集げつ自動消火機能は作動しません。

とくに多いご質問です

- ・ 点火／消火ボタンを押しても、点火しない
- ・ 電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。
新品のアルカリ乾電池(単1形:2個)と交換してください。

乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。



- ・使用していないのにブザー音がする

お知らせ機能がはたらいっているためです。

自動消火した場合、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。

※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。



- ・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいっているためです。

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。

※高温炒めキーを押すと通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。

また、高温炒めモードでも約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。



 内の数字は、参照ページを示しています。

目次

各部のなまえ	3
かんたん操作ガイド	5

安全なご利用のために

必ずお守りください(安全上の注意)・・・ 7
 機器の組み立てと設置 17

このコンロについて

乾電池の入れかた 22
お知らせ機能／安心・安全機能・・・23

毎日の使いかた

コンロを使う準備	25
コンロの使いかた (基本操作)	27
タイマーモード (全コンロ)	29
温度キープモード (チャオコンロ)	31
湯わかしモード (チャオコンロ)	33
炊飯モード (標準コンロ)	35
高温炒めモード (チャオコンロ)	39
グリルを使う準備	41
グリルの使いかた	43

便利な使いかた

各種設定の変更(カスタマイズ機能)・・・45

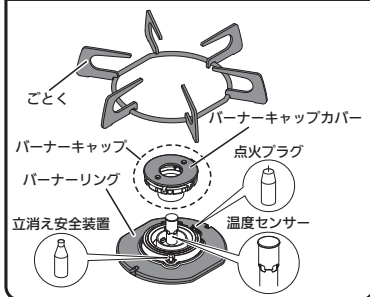
長くご利用いただくために

お手入れ	47
よくあるご質問	59
ブザー報知・お知らせ表示	65
長期間使用しない場合／仕様	67
アフターサービス／廃棄時のお願い	68
交換部品(消耗部品)／別売部品	69
保証書	裏表

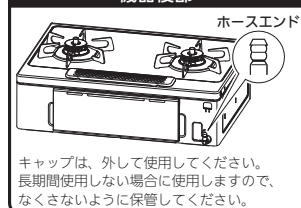
各部のなまえ

- ・イラストは、チャオコンロが左タイプで説明しています。
- ・取り付け方法については、「機器の組み立てと設置」(18～20ページ)を参照してください。
- ・ガス接続については、「機器の組み立てと設置」(21ページ)を参照してください。

コンロ部



機器後部

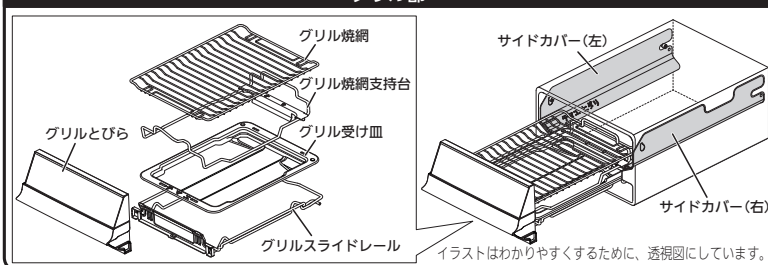


トッププレート

本体注意ラベル

グリル排気口カバー

グリル部

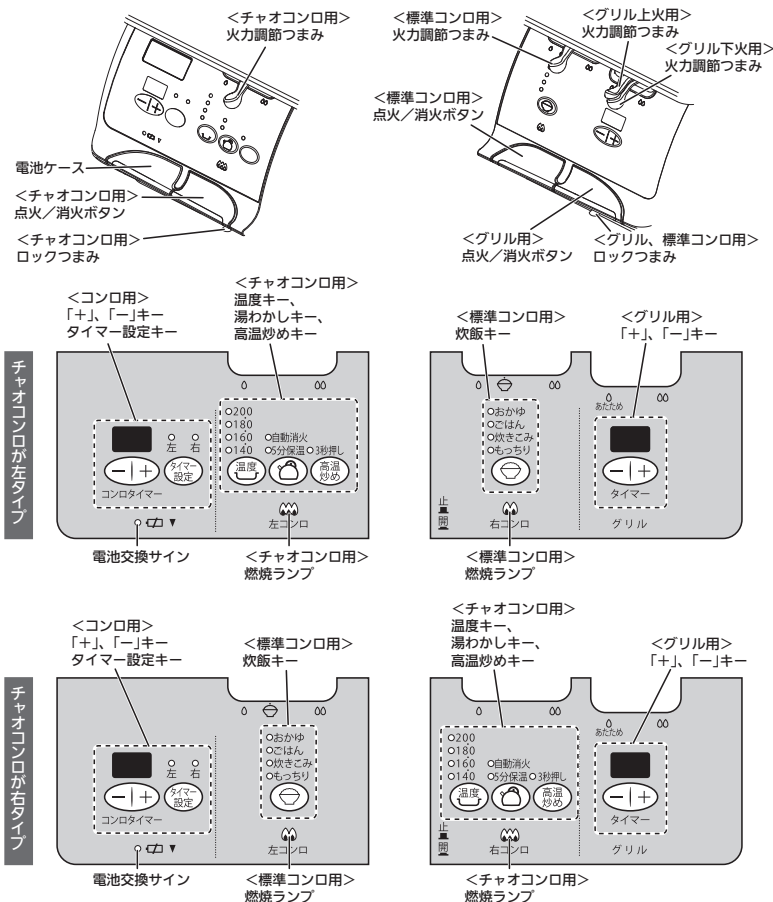


型番	トッププレート(ガラス)	パネル	左コンロ仕様	右コンロ仕様
210-H050型	ブラック	シルバー	チャオコンロ	標準コンロ
210-H051型			標準コンロ	チャオコンロ

※型番により、左・右コンロバーナーの火力が異なりますので、注意してください。

操作部

- ・乾電池の交換方法については、「乾電池の入れかた」(22ページ)を参照してください。
- ・操作部に保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。



かんたん操作ガイド

・イラストは、チャオコンロが左タイプで説明しています。

はじめに

コンロを使う準備 [25]

グリルを使う準備 [41]

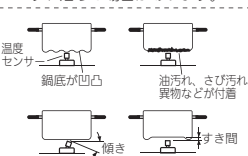
全コンロ タイマーで煮る、ゆでる [29]	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 弱火 ← 強火 炎があふれない程度に調節する 3 コンロを選択する 点灯 左 右 タイマー設定 4 タイマーを設定する(分表示) 点灯 [!] コンロタイマー 5 点火/消火ボタンを戻す 終了30秒前 → 終了(自動消火) 秒 [30] → 点滅 [00] 「ビビビッ」 → 「ビー」
チャオコンロ 揚げる、焼く [31]	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 中火 ← 強火 中火以上で、炎があふれない程度に調節する 3 温度を設定する 点灯 200 180 160 140 数秒後 点滅 200 180 160 140 設定温度到達 点灯 200 180 160 140 温度 温度 温度 「ビビビッ」 4 調理が終了したら、消火する 調理開始 → 終了
チャオコンロ お湯をわかす [33]	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 中火 ← 強火 中火以上で、炎があふれない程度に調節する 3 湯わかしを設定する 点灯 自動消火 5分保温 ふつうしたら、自動消火 消火 自動消火 5分保温 「ビー」 4 点火/消火ボタンを戻す
標準コンロ ごはんを炊く [37] (下準備 [35])	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 位置に合わせる 3 炊飯を設定する 点灯 おかゆ ごはん 炊きこみ もっちり ごはんの場合 自動消火後、むらし開始 むらし終了2分前 点滅 2分前 終了 消火 炊きこみ もっちり 「ビビビッ」 → 「ビー」 4 点火/消火ボタンを戻す
チャオコンロ あぶる、炒める [39]	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 弱火 ← 強火 3 高温炒めを設定する 点滅 5秒押し 高温炒め 設定後点灯 3秒押し 高温炒め 「ビビビッ」 4 調理が終了したら、消火する 調理開始 → 終了
グリル 焼く [43]	<ol style="list-style-type: none"> 1 点火する 2 火力調節する 弱火 ← 強火 おひたし 3 タイマーを設定する(分表示) 残り時間を表示 (例) 9分の場合 点灯 9 タイマー 4 点火/消火ボタンを戻す 終了30秒前 → 終了(自動消火) 秒 [30] → 点滅 [00] 「ビビビッ」 → 「ビー」

警告



温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

- ・温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
- ・鍋の重さは、調理物を含め300g以上が必要です。とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合があります。



ご注意いただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音「ビビッ」(5回)が鳴ります。そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

必ずお守りください (安全上の注意) ①







安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分、表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害、損害の程度による内容の区分

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

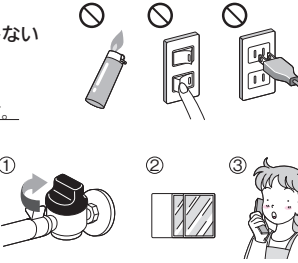
 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

ガス漏れに気づいたときは

危険
必ず守る

- 絶対に火をつけない
- 電気器具(換気扇などの)のスイッチの入/切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺で電話を使用しない

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

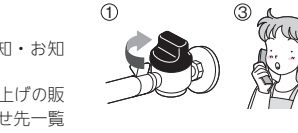


異常時

警告
必ず守る

- 点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音などを感じたときは、すぐに使用をやめる

①火を消し、ガス栓を閉める。
②『よくあるご質問』(59～64ページ)、『ブザー報知・お知らせ表示』(65～66ページ)に従い、処置をする。
③上記の処置をしても、なおらない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。



- 地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉める

使用時や使用後は

警告
必ず守る

- ゴム管が正しく接続されているか、ひび割れや穴があいていないか確認する
火災のおそれがあります。
- 点火、消火のあとは、必ず炎を確かめる
火災や思わぬ事故の原因になります。
※また使用後は、ガス栓を閉めてください。

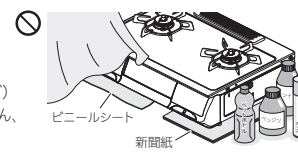
注意
必ず守る

- 使用するバーナーの点火/消火ボタンを確認してから点火操作をする
間違っていると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。
- 点火操作をしても点火しない場合は、点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火操作をすると、周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

機器周辺には


警告
禁止

- 爆発のおそれがあるもの、引火しやすいものや燃えやすいものを機器の近くで使用したり、置いたりしない
- 爆発のおそれがあるもの(スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど)
熱で圧力が上がり、爆発のおそれがあります。
- 引火しやすいもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)
- 燃えやすいもの(ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど)
火災の原因になります。



警告
禁止

- 調理以外の用途には使用しない
練炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。過熱、異常燃焼による機器焼損、火災の原因になります。
- 補助具(アルミはく製する受け、省エネごとく、グリル補助具などは、機器に付属または機器指定の補助具以外、使用しない)
一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。
- 焼網は使用しない
トップレートに落ちた油などが引火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。
- コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使用しない
不完全燃焼をおこしたり、機器の異常過熱のおそれがあります。



注意
禁止

- グリルとびら、電池ケースなどに、ものをのせたり強い力を加えない
けがや機器損傷の原因になります。

必ずお守りください (安全上の注意) ②

使用中は

警告

- 火をつけたまま離れない
 - 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない
- 調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

- 火がついたまま持ち運ばない
- やけどや火災の原因になります。

注意

- **必ず換気をする**
窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※屋内設置(密閉式は除く)の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。
 - 点火操作時や使用中は、バーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近づけない
 - グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
- 炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。
- 使用中や使用直後は操作部以外は触らない
- 機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
とくに小さなお子さまがいる家庭ではやけどに注意してください。
・グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。
・1カ所のみのコロコを使用している場合でも、使用していないコロコ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。

注意

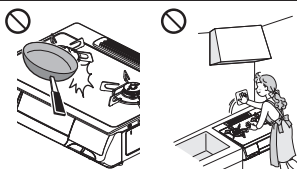
- 小さなお子さまだけで触らせない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。(26ページ)
- 操作部などのすき間に異物を入れない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。

コンロ編

トッププレートについて

警告

- 衝撃や荷重を加えない
 - 上にのらない
- トッププレートが変形、破損して、異常過熱や火災の原因になります。
※破損したときは、けがの原因にもなりますので、程度の大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



コンロ編

使用中は

警告

- **必ず守る**
 - コンロ使用中は、身体や衣服が炎に近付かないように注意する
- 衣服に炎が移って、やけどをするおそれがあります。
また、温度センサーがはたらいて炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。

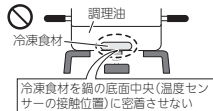
注意

- **必ず守る**
 - エアコン、扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用する
- 風が当たると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、炎が途中で消えたり機器損傷の原因になります。
- **必ず守る**
 - やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
- はみ出した炎により、やかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

揚げもの調理の際は

警告

- **必ず守る**
 - 高温炒めモードで揚げもの調理をしない
- 調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。
- **必ず守る**
 - 耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理をしない
- 天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火するおそれがあります。
- **必ず守る**
 - 揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
- 調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものををする際は、食材全体が調理油に十分につかからないと、発火するおそれがあります。
- **必ず守る**
 - 冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
- 鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げものをすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。
- **必ず守る**
 - 複数回使った調理油で揚げものをしない
- 何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にこった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火が起こりやすくなる場合があります。
- **必ず守る**
 - 揚げすぎない
- 豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロコケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。



警告

- **必ず守る**
 - 調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない
- 廃油凝固剤の分量を守り、油の温度が上がすぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。廃油凝固剤を入れすぎたり、加熱しすぎると、発火するおそれがあります。

必ずお守りください (安全上の注意) ③

コンロ編

温度センサーは



- 絶対に取り外さない
火災の原因になります。



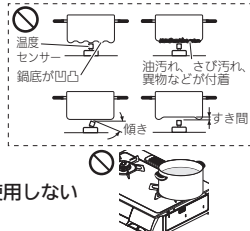
- 強いショックを加えたり、キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、温度センサーが故障すると安心・安全機能が作動しない場合があります。
- こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検、修理を依頼してください。



鍋などについて



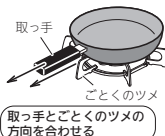
- 温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
- 鍋底やフライパンの底などに異物や著しい汚れ、焦げなどが付着したまま使用しない
温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
- 鍋の重さは、調理物を含め300g以上必要です。とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。



- 鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない
火災や機器焼損の原因になります。



- 石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器焼損の原因になります。
- 片手鍋、底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない
- 片手鍋などは、調理中に鍋のふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると、温度センサーの力により押し上げられ、傾いたりずれ落ちる場合がありますので取っ手を持って使用する
不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。
- 片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
- 中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手をしながら使用してください。



コンロ編

鍋などについて



- ごとくを外して鍋などを直接コンロに置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。
- トッププレートに鍋などをのせない
トッププレートのキズや変色、損傷の原因になります。
- 陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する
異常過熱による機器焼損の原因になります。

グリル編

グリルについて



- グリル排気口の上に、ふきんやタオル、アルミはくなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。
- グリル使用前はグリル庫内を点検する
グリル庫内に食品くずやふきんなどがあると、使用中に燃えることがあります。
また、グリルとびらに調理物などをはさみこんだまま使用しないでください。



- グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない
- 使用中や使用直後に水をかけない
グリルとびらガラスが割れて、やけどやけの原因になります。
- グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない
- グリル受け皿を持つときは、ぬれふきんなどで持たない
やけどの原因になります。

グリル使用時について



- 脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。
※鶏肉や脂がのったさんなどは、脂が多く出ます。
また、グリル上火バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。
- グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない
たまった脂が過熱され、火災の原因になります。



必ずお守りください (安全上の注意) ④

グリル編

グリル使用時について

- 注意**
- **グリル受け皿に水などを入れて使用しない**
この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水などを入れないでください。グリル機能が正しくはたらかなかったり、調理物が燃えるなどの原因になります。
また、お湯がこぼれてやけどの原因にもなります。
 - **グリル焼網支持台を使わずに、グリル焼網、グリル受け皿をサイドカバーの上に置いて使用しない**
調理物から出た脂が過熱され、発火するおそれがあります。
 - **グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近づけない**
高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。
 - **鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする**
高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。
 - **グリルとびらを開けたままやひんばんに開けたり閉めたりして、グリルを使用しない**
トッププレート上部を焦がしたり、機器上部が異常に過熱され、やけどをする原因になります。

グリル使用中は

- 注意**
- **調理物を焼きすぎない**
調理物に火がつき、グリル排気口から炎が出ることがあり、火災の原因になります。
 - **異なる調理物(焼き上げの早い調理物、遅い調理物)を、同時に焼くときは注意する**
調理物が焦げたり、発火するおそれがあります。
 - **鶏肉やさんまなどの脂の多い調理物を焼くときは注意する**
飛び散った脂に引火して、瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があります。
やけどや火災などの原因になります。
 - **調理物が発火した場合は、すぐに使用をやめる**
① 点火/消火ボタンを押し、消火する。
② 炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③ 消火後、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に点検を依頼する。

グリル使用後は

- 警告**
- **グリル使用後および連続使用するとき、グリル受け皿やサイドカバーにたまった脂、グリル焼網についた食材は、ご使用の都度取り除く**
たまった脂に火がついて火災のおそれがあります。
- 注意**
- **使用直後の調理物の出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網、グリル焼網支持台を機器から取り外さずに行う**
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、やけどの原因になります。
 - **グリル受け皿を持ち運ぶときは、冷めてから持ち運ぶ**
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、やけどの原因になります。また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。

お手入れ編

お手入れの際は

- 注意**
- **機器が十分冷めてから、手袋をして行う**
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
 - **機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしない**
機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤などが付着すると、変色したりキズの原因になります。
 - **ぬれふきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用する**
機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤などが付着すると、変色したりキズの原因になります。
 - **トッププレートは取り外さない**
裏面だけが原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤などが付着すると、変色したりキズの原因になります。
 - **トッププレート枠とトッププレートの間にすき間がないか確認する**
すき間がある状態でお手入れすると、トッププレート枠で指を切るおそれがあります。
 - **バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る**
水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



別売部品編

グリルプレートについて(別売部品)

- 注意**
- **油もの料理や、焼き魚にグリルプレートは使用しない**
火災の原因になります。
 - **グリル以外では使用はしない**
損傷の原因になります。
 - **予熱終了後に食材をのせるときは、グリルプレートが高温のため、触れない**
やけどの原因になります。
 - **グリルプレートは、グリル使用中および使用直後は高温になるため、取り出すときは必ず付属のホルダーを使用する**
やけどの原因になります。
 - **続けて使用するとき、その都度グリルプレートにたまった食品くずや脂などを取り除く**
たまった脂が燃えて、火災のおそれや機器損傷の原因になります。
- お願い**
- **調理終了後、グリルプレートが高温の状態の水などに入れて急冷しない**
変形の原因になります。
 - **予熱終了後などで、グリルとびらを開けるときは必ず一旦消火する**
グリル過熱防止センサー(24ページ)がはたらき、消火する場合があります。

必ずお守りください (安全上の注意) ⑤

お願い

機器のご使用について

- ・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- ・ガス栓を閉めて火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- ・トッププレートの上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。
磁力線により、機器が故障する原因になります。
- ・トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。
もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。
- ・弱火で使用している場合は、グリルとびらをゆっくり開閉してください。
開閉により発生した風で、火が消える場合があります。

コンロのご使用について

- ・弱火のときは炎が見えにくい場合がありますので、消し忘れに注意してください。
- ・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してください。
火を消さずに作業をすると、やけどの原因になります。
- ・強火で長時間使用すると土鍋やホーロー鍋など、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。
長時間使用したあとに、鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
ごとくがくっついた場合は、すぐに元の位置に戻し、機器が冷めてからくっついたごとくを鍋から外してください。
くっついたまま動かすと、ごとくが落下し、やけど、けが、機器損傷の原因になります。
- ・煮こぼれたときは、その都度お手入れを行ってください。
バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。

突沸現象について

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。)

突沸現象とは、突然にふっとする現象です。

水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器をゆす、塩、砂糖などを入れる)で生じます。

この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
- ・熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
- ・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

コンロ下(調理台)のお手入れについて

- ・コンロ下(調理台)は、水やゴミなどがたまらないよう、定期的にお手入れしてください。
また、煮こぼれた場合などは、都度お手入れしてください。(58ページ)
機器が冷めていることを確認し、けがをしないように手袋をして行ってください。

設置編



- ・絶対に改造、分解は行わない
改造、分解は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
また、火災の原因になります。



- ・水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する
不安定な所や傾いた所に設置すると、機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。



- ・棚の下など落下物の危険のある所を避ける
機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。



- ・照明器具など樹脂製品の下に設置しない
照明器具のかさなどが変形、変色する原因になります。



- ・エアコン、扇風機などの風が当たる場所や、強い風が吹き込む場所には設置しない
風が当たると、安心・安全機能がはたらかず、点火不良、機器焼損、思わぬ事故の原因となります。



- ・湯沸器の下には設置しない
湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。
また、湯沸器の寿命を短めます。



- ・銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する
転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する
表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒、異常点火や機器が故障する原因になります。



(例) 都市ガス用13Aの場合 <銘板>

製造年月・製造Noを表示しています。

型番 210-H000 大阪ガス株式会社

PS16



- ・可燃性の部分(棚、壁、家具など)から十分離して設置する
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。



- ・可燃性の壁との隔離距離を取れない場合は、必ず別売の防熱板を取り付ける。
※表面がステンレスやタイルでも壁の内側がベニヤ板などの場合があります。確認できない場合は、防熱板が必要です。詳しくは、『機器の組み立てと設置』(17ページ)を参照してください。



- ・機器周囲の改装をする場合(吊り戸棚を付けるなど)も、可燃物との隔離距離を確実に離す
火災の原因になります。

機器の組み立てと設置 ①

機器の設置場所を確認する(周囲の防火措置)

設置場所の周辺に可燃物(木製の壁や棚など)がある場合。

警告



可燃性の壁に直接タイルやステンレス板を貼り付けた場合でも伝熱のため可燃物が炭化し、火災となるおそれがありますので必ず**防火措置1または2**を行う

壁から**防火措置1**の離隔距離がとれない場合は、必ず大阪ガス指定の防熱板(別売部品)を取り付けて**防火措置2**を行う

防火措置を行わないと、火災の原因になります。

防火措置1

- 可燃物(壁、棚など)から離して設置してください。



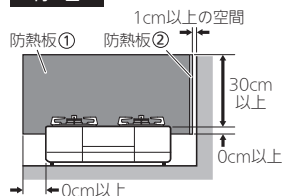
防火措置2

- 防火措置1の条件を満たさない場合は、防熱板(別売部品)を正しく取り付けて設置してください。
- 防熱板は4種類あります。

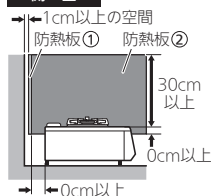
※防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせせ先一覧表)にお問い合わせください。

※防熱板の「取付説明書」に従って、正しく取り付けてください。

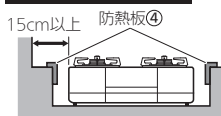
背面



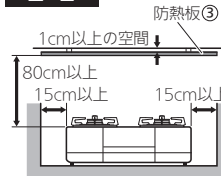
側面



調理台、流し台などの側面



上面



防熱板(別売部品)

防熱板の種類(ステンレス製)

	部品コード、型番	高さ(mm)	奥行(mm)	幅(mm)	本体価格(税別)
①	4015-0100-0206	350	—	600	¥4,300
②	4015-0100-0205	350	—	535	¥5,300
③	4015-0100-0207	—	550	900	¥4,800
④	4015-0100-0108	150	500	60	¥5,500

・2016年3月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記本体価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税が必要となります。

詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために、正しく設置してください。

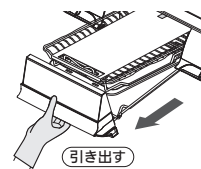
※機器の設置や移動の際は、グリル部を外し、必ず手袋をして行ってください。

機器を設置する

- ①テープを取り外してグリルとびらを引き出し、グリル部を取り外してください。

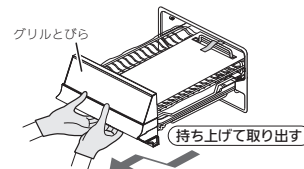
(1)グリルとびらを水平にゆっくりと止まるところまで引き出す。
(グリルとびらだけが下がります。)

※グリルとびらを持ち上げて引き出すと、グリルとびらが止まらず、落下する場合があります。



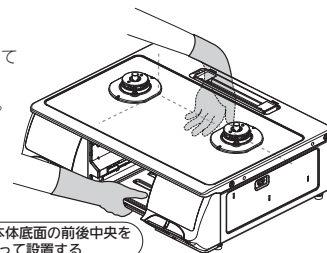
(2)両手でグリルとびら下部を支え、少し持ち上げて取り出す。

※持ち運ぶときは、グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運んでください。



- ②機器本体底面の前後の中央部分(右図参照)を持って設置してください。

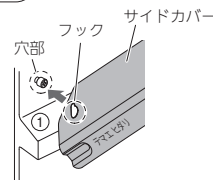
※機器を設置する際、指を挟まないように注意してください。



サイドカバーを取り付ける

- ・サイドカバーには左右があり、図はサイドカバー(左)の場合です。

- ①「テマエ ヒダリ」の印がある方を手前に持ち、穴部をフックに入れる。

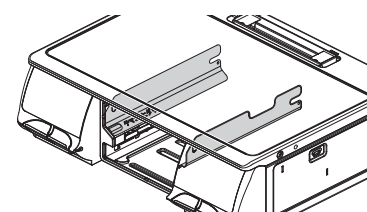
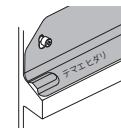
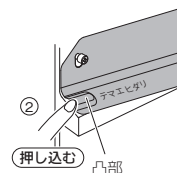


- ②サイドカバーの凸部を指で押し込み、平行になったことを確認する。

※サイドカバー(右)も同様に付けてください。

平行に取り付けた状態

サイドカバーを取り付けた状態



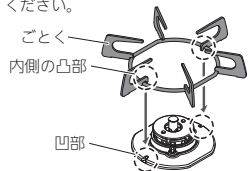
機器の組み立てと設置 ②

機器を組み立てる(コンロ部)

各部品を正しく取り付けてください。

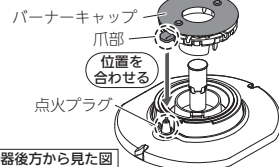
ごとく

- ・ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングの凹部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。



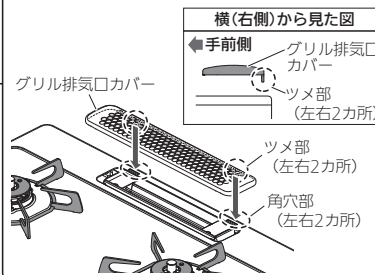
バーナーキャップ

- ・バーナーキャップの爪部を奥に、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。(点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)



グリル排気口カバー

- ・ツメ部(左右2カ所)を角穴部(左右2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。

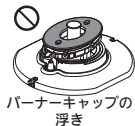


注意



バーナーキャップは正しく取り付ける

- 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、
- ・点火しない場合があります。
- ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- ・機器寿命が短くなるおそれがあります。



ごとくは正しく取り付ける

- 誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用する、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがついたり、ガラスが割れる原因になります。



安全にお使いいただくために、正しく設置してください。

※機器の設置や移動の際は、グリル部を外し、必ず手袋をして行ってください。

機器を組み立てる(グリル部)

各部品を正しく取り付けてください。

グリル受け皿、グリル焼網、グリル焼網支持台

- ・梱包部材やビニールなどをすべて取り外してください。

グリル受け皿

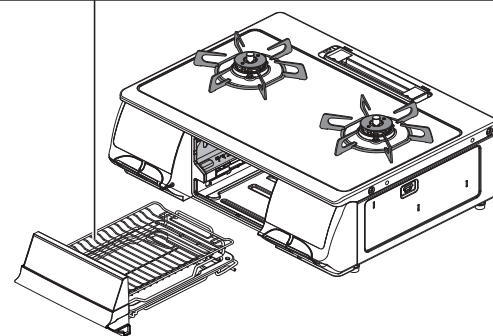
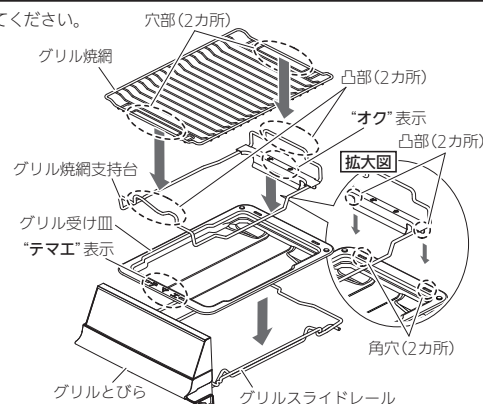
- ・グリル受け皿の“テマエ”刻印をグリルとびら側に向け、グリルスライドレールの上に乗せる。

グリル焼網支持台

- ・グリル焼網支持台の“オク”刻印を機器側に向け、凸部をグリル受け皿の角穴に差し込む。

グリル焼網支持台、グリル焼網

- ・グリル焼網の表裏を確認し、穴部をグリル焼網支持台の凸部に差し込む。



グリル部を取り付ける

- ・グリルとびらを両手で持ち、グリルスライドレールをグリル庫内底部の左右にある溝に合わせて、グリル庫内に入れたあと、水平にスライドさせ、グリルとびらが完全に閉まるまできっちり入れてください。

※イラストは分かりやすくするためにグリル受け皿なしで記載しています。



グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、サイドカバー、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網支持台、グリル焼網が正しく取り付けられていません。そのまま押し込むと、変形や破損の原因になりますので、正しく取り付け直してください。

機器の組み立てと設置 ③

機器とガスを接続する

ガス接続は、下記事項を必ず守り、正しく接続してください。

警告



必ず守る

ゴム管はガス用ゴム管(検査合格マークまたは、JISマークの入っているもの)を使用し、ホースエンドの赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める。ガス用ゴム管以外の使用は、ガス漏れの原因になります。



必ず守る

ガスコードを使用の場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従う。間違った接続は、ガス漏れの原因になります。



必ず守る

ゴム管はグリル排気口などの高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして、機器の下を通したり、機器に触れないようにする。ゴム管が損傷し、ガス漏れの原因になります。



禁止

ゴム管の継ぎ足しや二又分岐はしない。ガス漏れの原因になります。



禁止

ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。ガス漏れの原因になります。



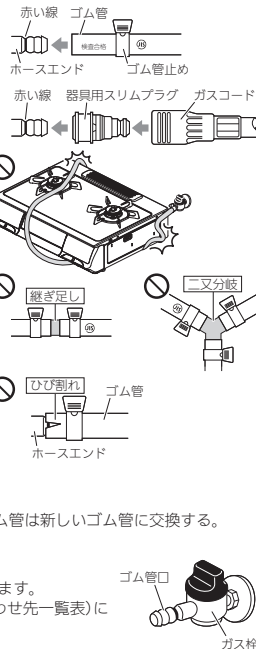
必ず守る

ホースエンドなど各接続部に汚れやゴミがないようにする。ガス漏れの原因になります。



必ず守る

ゴム管は、ときどき(6カ月に1回程度)点検し、古くなったゴム管は新しいゴム管に交換する。ガス漏れの原因になります。



迅速継手を使用する場合は、ガス栓のゴム管口により接続員が異なります。接続はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に依頼してください。

ガスコンセントについて

警告

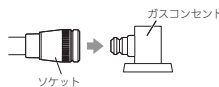
開閉つまみのない「ガスコンセント」の場合、下記の要領で「ガスコンセント」にガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓するようになっています。



必ず守る

取り付け方法(ガス栓を開けるとき)

ガスコードなどのソケット側を右図のようにガスコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



取り外し方法(ガス栓を閉めるとき)

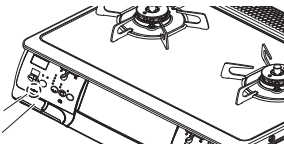
ソケットを外すときは、ソケットのスリーブ(白色)を手前に引きます。



乾電池の入れかた

・乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音『ピー』でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

電池交換サイン
電池ケース



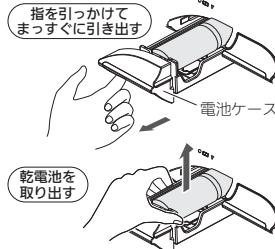
乾電池を交換するときは、必ず機器が冷めてから行ってください。

※初めて機器を設置するときは、①の古い乾電池を取り出す作業は不要です。

1 電池ケースをまっすぐに引き出し、古い乾電池を取り出す

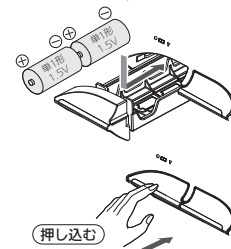
古い乾電池は、手前から1個ずつ取り出し、必ず2個とも取り出す。

※電池ケースは、乾電池の落下を防止するために、乾電池1個分が取り出せる位置で止まります。
※電池ケースを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。
強く引き出すと、破損の原因になります。



2 新しい乾電池を入れる

新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕⊖を確かめ、1個ずつ電池ケースに組み込む。



3 電池ケースを元に戻す

注意



禁止

乾電池は充電、分解、加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

乾電池に関するお願い

- ・乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しくご使用ください。
- ・乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
- ・乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなかった場合は、使用できません。
- ・乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
- ・アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(使用状況、使用時間、乾電池製造メーカーにより交換時期が1年以内と短くなる場合があります。また、新しい乾電池と古い乾電池の組み合わせや種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、マンガン乾電池を使用した場合は、交換時期が短くなります。)
- ・未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単1形：2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- ・電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。
- ・単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スパーサーは、電池ケースの ⊖ 端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

お知らせ機能／安心・安全機能

お知らせ機能

◎点火／消火ボタンを戻し忘れてもブザーでお知らせします。

点火／消火ボタン戻し忘れブザー (コンロ) (グリル)

タイマーや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。

※他のパーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

◎コンロが自動火力調節中に火力が弱火から強火に切り替わる際に、ブザーでお知らせします。

強火切替お知らせブザー (コンロ)

火力が自動で弱火から強火に切り替わる際に、ブザー音『ピピッ』でお知らせします。

・強火切替時のブザー音は、解除することができます。(各種設定の変更(カスタマイズ機能)：45ページ)

◎コンロ使用中であることをブザー音でお知らせします。

コンロ使用中お知らせブザー (コンロ)

コンロ点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

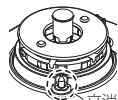
安心・安全機能

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置 (コンロ) (グリル)

火が消えてから数秒後にガスを止めます。

- ・再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全に無くなってから点火してください。
- ・立消え安全装置がはたらいたときは、タイマー表示部に『12や_1または_2または_5』が表示され、点火／消火ボタンを押し「消火の状態」に戻すまで点滅します。



立消え安全装置

◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能 (コンロ)

点火後、約120分連続使用すると自動消火します。

ただし、安心・安全機能がはたらき、高温で自動火力調節している状態の場合は約30分連続使用すると自動消火します。

- ・チャオコンロは高温炒めモード使用時、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると自動消火します。
- ・コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(各種設定の変更(カスタマイズ機能)：45ページ)

グリル消し忘れ消火機能 (グリル)

連続使用可能時間は約15分です。点火後、最長で約15分連続使用すると自動消火します。

◎過熱を未然に防止します。

調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能) (コンロ)

油の温度を約250℃に保つよう、自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。

自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。

- ・弱火の状態でも温度が上昇し、約250℃以上になると約30分を経過する前に自動消火します。
- ・鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
- ・自動消火したときは、タイマー表示部に『02や_1または_2』が表示され、点火／消火ボタンを押し「消火の状態」に戻すまで点滅します。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。

注意



天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意するやけどやけがの原因になります。

必ず守る

グリル過熱防止センサー (グリル)

グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高くなった場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると自動消火します。

- ・自動消火したときは、タイマー表示部に『02や_5』が表示され、点火／消火ボタンを押し「消火の状態」に戻すまで点滅します。

注意



グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意するやけどやけがの原因になります。

必ず守る

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、自動消火します。

焦げつき自動消火機能 (コンロ)

鍋底が焦げつきはじめたら、自動消火します。

・焦げつきの程度は、鍋の材質、火力、調理物によって異なります。

- ・自動消火したときは、タイマー表示部に『02や_1または_2』が表示され点火／消火ボタンを押し「消火の状態」に戻すまで点滅します。
- ・弱火から強火に切り替えたときに焦げつき自動消火機能がはたらいて自動消火することがあります。再度点火して使用してください。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。

コンロを使う準備

調理に応じた鍋の選びかた

鍋などの種類	煮もの	炒めもの 揚げものなど ※8 (油の量: 200mL以上)	便利機能		
			温度キープ モード □ ₇ [31] ※8 (油の量: 500~ 1000mL)	湯わかし モード □ ₇ [33] (水の量: 500~ 2000mL)	炊飯 モード □ ₇ [35] (ごはん: 1~5合 炊きこみ: 1~4合 おかゆ: 0.5~1合)
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○	○	○ ※5	○ 深めのもの
ホーロー鍋・ ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上)	○	○	○	○ ※5	○ ※6 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満)	○ ※1	×	×	○ ※5	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ ステンレス製の多層鍋	○ ※2	○	×	○ ※5	×
鉄製の鍋・ 中華鍋・ フライパン	○	○	○ ※3 ※4	×	×
土鍋・ 圧力鍋・ 耐熱ガラス容器	○ ※2	×	×	×	×
やかん	—	—	—	○ ※5	—

○: 適しています。 ×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1: 焦げつきがきつくなります。

※2: 途中消火したり、焦げつく場合があります。

チャオコンロは高温炒めモード(39ページ)にすると途中消火せず使用できます。

ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。

※3: 中華鍋は底の平らな鍋を使用してください。

※4: フライパンは焼きものに使用してください。

※5: 必ずふたをしてください。

※6: ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。

※7: 炊飯モードのもっちりとは、ごはんに比べて焦げつきがきつくなります。

※8: 揚げもの場合の油の量を示します。

中華鍋を使うときのお願い

- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

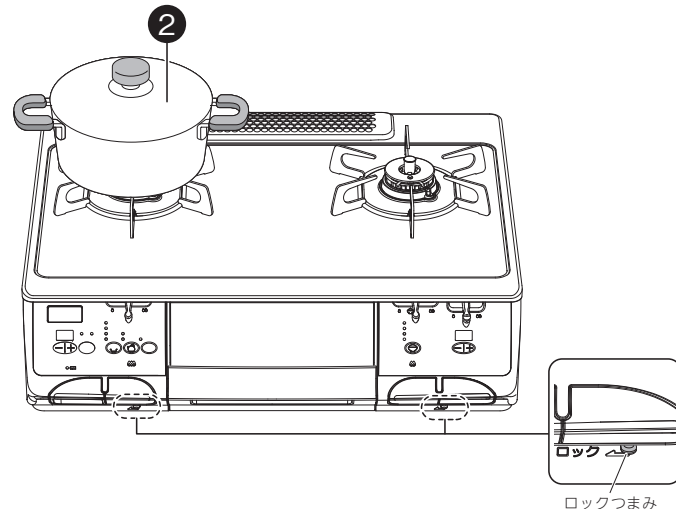
1 ガス栓を全開にする

1



2 ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

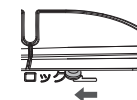


ロック機能について

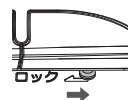
小さなお子さまのいたずらや誤操作を防止するために、点火/消火ボタンをロックすることができます。

- ・左のロックつまみは左コンロを、右のロックつまみは右コンロとグリルをロックします。
- ・点火/消火ボタンが「消火の状態」のときにロックの設定、解除をしてください。
- ・ロックつまみを左にするとロックの設定ができます。ロックつまみを右にするとロックの解除ができます。

◎ロックの設定



◎ロックの解除



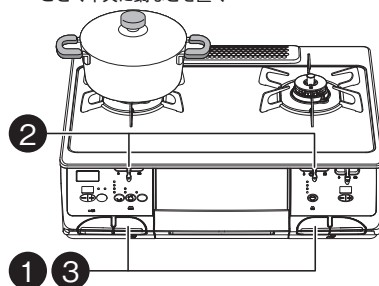
コンロの使いかた (基本操作)

※チャオコンロが左タイプで説明しています。

◎コンロ使用時は、その場を離れない

▶『コンロを使う準備』(25ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



調理をするときのコツ

炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。

※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。(自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。)

きんぴらごぼう、焼きそばなどは、高温炒めモードで調理する。(39ページ)

※水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

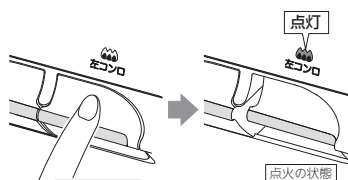
揚げものは温度キープモードで調理する。(31ページ)

※温度キープモードを使わずに多めの油を加熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。

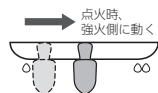


1 点火する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



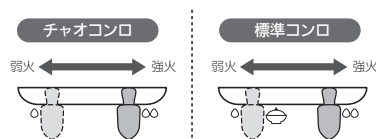
火力調節つまみが・・・
弱火側(左側)にある場合



※火力調節つまみが弱火側(左側)にある場合、つまみは強火側(右側)に動きます。安全のため、火力調節つまみが強火側(右側)にある場合、つまみは中火位置(中央)へ動き、中火点火します。

2 火力調節する

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



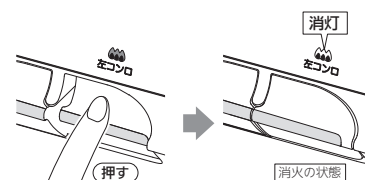
※点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で、使用中であることをお知らせします。

お知らせ

・自動火力調節中に、火力が弱火から強火に切り替わる際は、ブザー音『ピピッ』でお知らせします。(23ページ)

3 消火する

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トッププレートにキズがつくおそれがあります。

お願い

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。

(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)
※突沸現象については、15ページを参照してください。

お知らせ

約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(各種設定の変更(カスタマイズ機能): 45ページ)

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)が鳴ります。
そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

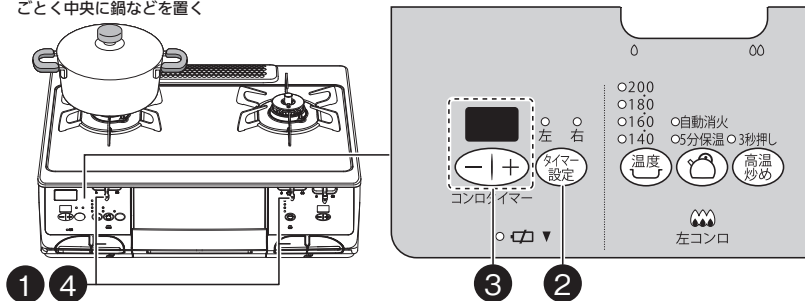
タイマーモード (全コンロ)

※チャオコンロが左タイプで説明しています。

『コンロを使う準備』(25ページ)
をよく読み、準備をする

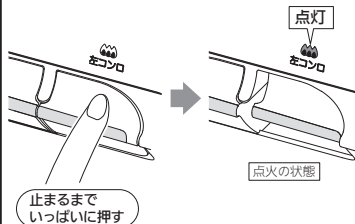
ごとく中央に鍋などを置く

チャオコンロ操作部

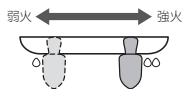


1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっばいに押し、「点火の状態」にしてください。

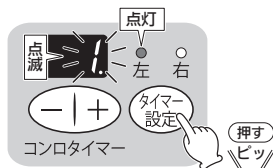


○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



2 コンロを選択する

○タイマー設定キーを押してください。
※火のついていないコンロと、炊飯、湯わかしモード中のコンロは選択できません。



○押すたびに、次のように切り替わります。
(全てのコンロを使用している場合で説明しています。)



- ・設定できるコンロは1カ所です。
- ・チャオコンロが右タイプの場合は、「左」と「右」のランプの点灯順が逆になります。
- ※設定を解除しても消火しません。

3 タイマーを設定する

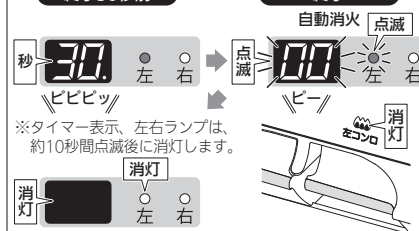
○「+」キー、「-」キーを押して、タイマーを設定してください。



- ・コンロタイマーの「+」キー、「-」キーを押すか、約10秒たつと、タイマー表示が点灯に変わり、設定されます。
- ・1分刻みで1～99分(最長)に設定できます。(押し続けると、10分刻みで変わります。)
- ※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
- ※高温炒めモード使用時は最長60分です。
- ※安心・安全機能がはたらき、高温で自動火力調節している場合は、約30分で自動消火します。

タイマーが終了すると、自動で火が消える

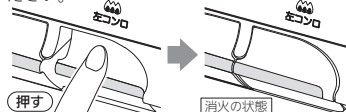
終了30秒前



※タイマー表示、左右ランプは、約10秒間点滅後に消灯します。

4 消火の状態に戻す

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



ご注意いただきたいこと

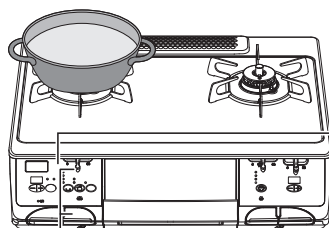
自動消火した場合、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ビビッ』(5回)が鳴ります。そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

温度キープモード (チャオコンロ)

※チャオコンロが左タイプで説明しています。

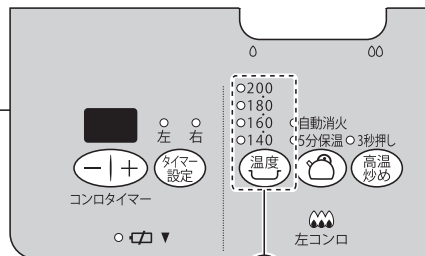
▶『コンロを使う準備』(25ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



揚げものに適した鍋	適した油の量
直径：18～24cm 材質：鉄、アルミ 種類：天ぷら鍋 中華鍋 (底が平らなもの)	500～1000mL

チャオコンロ操作部



1 3

2

焼きものにも便利

ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど焦げつきやすい焼きものも、温度キープモードの温度調節を使えば簡単です。ほどよい焼き色に焼きあげます。

揚げもののコツ

次のような下ごしらえをすると、油の飛び散りをおさえることができます。

- ・イカ 皮をむき、両面に切り目を入れる。
- ・ししとう(中が空洞の野菜など) 生地には、必ずベーキングパウダーや砂糖を入れる。
- ・エビ 尾は先を切る。
- ・うずら(ゆで卵など) 串などで刺す。
- ・ドーナツ 生地をふき取る。
- ・魚介類や野菜など 水分をふき取る。

※調理中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかります。

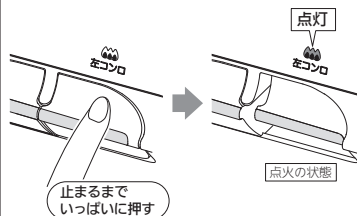
複数の揚げものをするときは、温度設定の低いものから調理しましょう。

ご注意ください

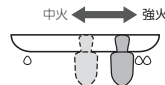
- ・油の温度は鉄製天ぷら鍋を基準に設定しています。鍋の種類、材質、大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなることがあります。
- ・油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油を足すと、設定温度と油の温度が異なることがあります。
- ・焼きものをしたときの焼き色は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。
- ※弱火から強火に切り替わる瞬間、ブザー音『ビピッ』でお知らせし、炎が大きくなりますので注意してください。
- ※一度に揚げる量は、油の表面積の半分程度にしてください。調理物を入れすぎると、温度調節がうまくできなくなります。
- ※設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。

1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



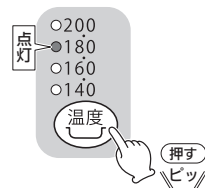
○火力調節つまみを右にゆっくりとスライドさせ、中火以上で鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。



※弱火で使用すると、温度調節機能が正しくはたきません。

2 温度を設定する

○着火後すぐに温度キーを押してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。(10℃刻みで140～200℃に設定できます。)

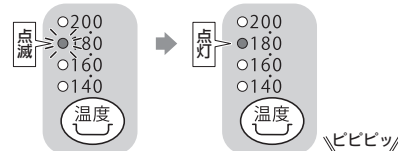
180℃	190℃	200℃	140℃	150℃	160℃	170℃	解除
○200	●200	●200	○200	○200	○200	○200	○200
●180	●180	○180	○180	○180	○180	○180	○180
○160	○160	○160	○160	○160	○160	○160	○160
○140	○140	○140	○140	○140	○140	○140	○140

ビッ／ビッ／ビッ／ビッ／ビッ／ビッ／ビッ／ビッ

- ・設定すると表示が点灯し、数秒後に点滅に変わります。設定温度になるまで点滅が続きます。
- ※調理中でも、温度の変更は可能です。設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。
- ※設定を解除しても消火しません。

調理する

○設定温度になると、点滅から点灯に変わり、ブザー音『ビピッ』でお知らせします。調理を始めてください。



- ・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。
- ・温度キープモードでは、タイマーモードを同時に使用できます。「タイマーモード」(29ページ)を参照してください。

お知らせ

- ・自動火力調節中に、火力が弱火から強火に切り替わる際は、ブザー音『ビピッ』でお知らせします。(23ページ)

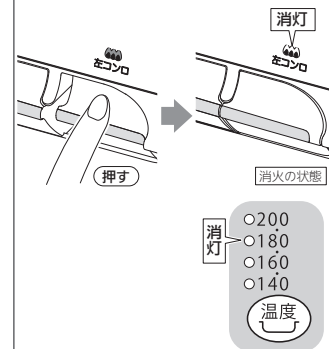
設定温度のめやす

	140℃	150℃	160℃	170℃	180℃	190℃	200℃
揚げもの							フルトン
焼きもの	だし巻き、ハンバーグ、ホットケーキ	ギョーザ、お好み焼き	冷凍食品(コロッケなど)、天ぷら	手作りコロッケ			

調理例は付属のフッキングブックをご覧ください。

3 消火する

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意ください

自動消火した場合、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ビピッ』(5回)が鳴ります。そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

湯わかしモード (チャオコンロ)

◎コンロ使用時は、その場を離れない

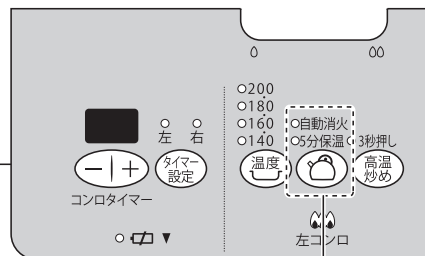
※チャオコンロが左タイプで説明しています。

『コンロを使う準備』(25ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央にやかんなどをふたをして置く

適した鍋	適した水の量
やかん 底の平らな鍋	500~2000mL ※ふきこぼれを防ぐために、やかんや鍋の大きさに応じた水量(最大容量の6~7割)にしてください。

チャオコンロ操作部



お知らせ

・お好みに合わせ、湯わかしお知らせ時間を変更することができます。
各種設定の変更(カスタマイズ機能): 45ページ

湯わかしするときのお願い

温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。

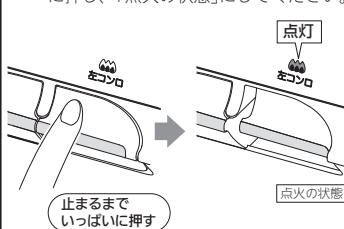
- ・やかんや鍋にふたをする
- ・やかんや鍋のふたを開閉しない
- ・やかんや鍋を動かさない
- ・水をかき混ぜない
- ・途中で水を入れたり具を入れない
- ・途中で火力を変えない

ご注意ください

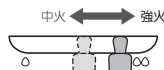
・やかんや鍋の材質、形状、水の量などにより消火や弱火になるタイミングが異なる場合やふきこぼれる場合がありますので、やけどなどに注意してください。
・お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせ、中火以上でやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。



※弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火したり、湯わかしモードの機能が正しくはたらきません。

2 湯わかしを設定する

○着火後すぐに湯わかしキーを押してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。



※設定を解除しても消火しません。

○着火後すぐに湯わかしキーを押してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。



※設定を解除しても消火しません。

自動で火が消える



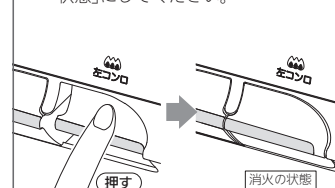
お知らせ

・ふっとうすると、ブザーでお知らせし、火力が自動で弱火になります。
※保温中は、火力調節できません。



3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



ご注意ください

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ビビッ』(5回)が鳴ります。そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

炊飯モード (標準コンロ) 下準備

1 お米を正確にはかる

- ・計量カップやはかりで、炊飯したいお米の量を正しくはかる。

1回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊きこみごはん	1～4合
おかゆ	0.5～1合

例) 180mLの計量カップ



すり切りいっぱい、お米1合です。

2 お米をとぐ

- ・たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。
- ・一度目のとき水はすぐに流す。

※ぬかを含んだ最初のとき水を、お米が吸わないようにするためです。

- ・「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返す。

※といだあとのお米は、よく水を切ってください。

※お米のときが足りないと、においや着色および、ふきこぼれの原因になり、炊飯がうまくできない場合があります。

3 お米に水を含ませる

お米と水の量のめやす

- ・ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節する。

※炊きあがりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて加減してください。

※増減する水量のめやすは、±10%程度にしてください。

ごはん

お米の量	水の量
1.0合 (150g) (180mL)	約300mL
1.5合 (225g) (270mL)	約400mL
2.0合 (300g) (360mL)	約500mL
2.5合 (375g) (450mL)	約600mL
3.0合 (450g) (540mL)	約700mL

※炊きこみごはんの場合は、お米に水分を吸収させるため、調味料などは炊く直前に入れてください。
具は、お米の上のせて炊いてください。

おかゆ

お米の量	水の量
0.5合 (75g) (90mL)	約700mL
1.0合 (150g) (180mL)	約1000mL

※おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

お米を水に浸す時間

- ・といだあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間以上)

※といだあと、すぐに炊飯をするとごはんがかためになります。

※ごはんは芯が残るので、お湯を使わないでください。

※一度水に浸したお米は砕けやすくなります。

砕け米、粉末などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

- ・1～2回すすぐ。

※にごったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。

・洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間以上)

・水の量を3%程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。

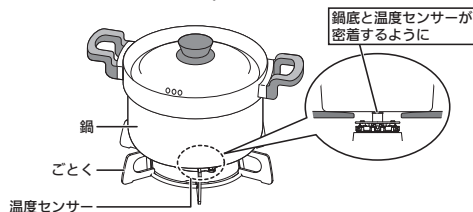
・よく混ぜて気泡をとばす。

※水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

4 鍋をセットする

- ・水に浸した状態のお米が入っている鍋を、正しくごとくに置く。

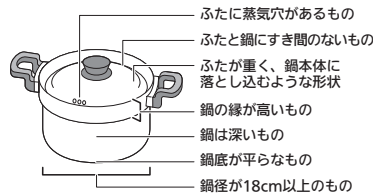
※温度センサーの上面や、鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。



炊飯モードに適した鍋

- ・おいしく炊くために、炊飯に適した鍋を選ぶ。

※市販の炊飯鍋などでも炊くことができます。



※ふたに蒸気穴がない場合や、鍋の材質、形状によっては焦げつきや、ふきこぼれなどを起こし、うまく炊けない場合があります。

このような場合は、別売の炊飯専用鍋を使用してください。

炊飯専用鍋を別売しています。(69ページ)

※別売の炊飯専用鍋のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

炊飯モードに適した鍋	炊飯モード (ごはん : 1～5合 炊きこみ : 1～4合 おかゆ : 0.5～1合)
炊飯専用鍋 (別売)	○
アルミ製の鍋、文化鍋	○ 深めのもの
ホーロー鍋、 ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上)	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満)	○ ※2 深めのもの
ステンレス製の無水鍋、 ステンレス製の多層鍋	×
土鍋、圧力鍋、 耐熱ガラス容器	×

○: 適しています。

×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1: ホーロー鍋の場合、焦げつき場合があります。

※2: 焦げつきがきつくなります。

ごはんからおかゆの炊きかた(手動)

おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。

- ・ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、下記を参考に手動で調理してください。
<2人分(茶わん約2杯分: 300g)の例>

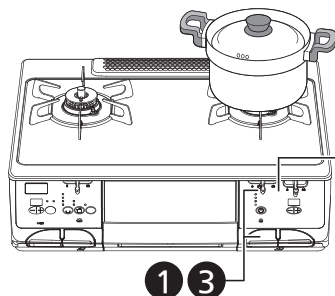
- (1) 冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。(ぬめりをとります。)
- (2) 鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ、強火で炊く。
- (3) 煮立ったらアクを取り、弱火で10～15分炊く。
- (4) 消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

炊飯モード (標準コンロ)

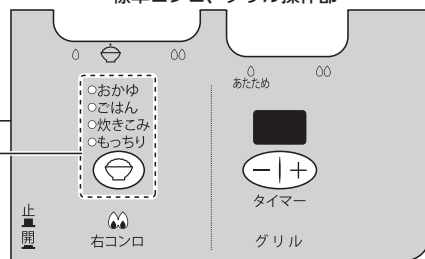
※チャオコンロが左タイプで説明しています。

『コンロを使う準備』(25ページ)
『炊飯モード 下準備』(35ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋を置く



標準コンロ、グリル操作部



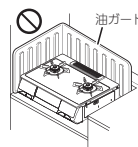
炊飯のめやす時間と特長

ごはん	約25～40分 (むらし約10分を含む)	白米をおいしく炊き上げます。
もっちりごはん	約30～45分 (むらし約10分を含む)	ごはんモードより、もちもちとした食感に炊きあげます。
炊きこみごはん	約30～45分 (むらし約10分を含む)	炊きこみごはん用の炊飯モードです。(38ページ)
おかゆ	約40～50分	お米からおかゆ(七分がゆ)を炊くモードです。

◎コンロ使用時は、その場を離れない

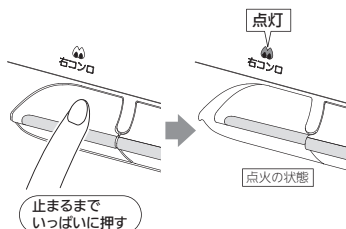
ご注意ください

- ・エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たると、途中消火したり、炊きムラの原因になります。風が当たらないように風向を調節してください。
- ・機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、炎が不安定となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。
- ・炊飯開始後、一定時間を経過すると設定の変更および炊飯モードの解除ができないため、解除するときは、一度消火してください。
- ・炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。うまく炊けない場合があります。
- ・炊飯(ごはん、もっちり、炊きこみ)の場合は、消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないとうまく炊きあがりません。
- ・炊きこみごはん(炊きこみごはんモード)を炊くとき
 - ・お米に水分を吸収させるため、調味料などは炊く直前に入れてください。
 - ・具はお米の上に均等にのせ、お米と混ぜないでください。
 - ・具の大きさは、小さいほうが上手に炊きあがります。
 - ※無洗米は精米に比べ、焦げつきがきつくなる場合があります。
- ・おかゆを炊くとき
 - ・おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。
 - ※ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、手動で調理してください。(36ページ)
 - ・最初から、または炊飯途中で調味料や具は入れないでください。粘りがたり、米粒がつぶれうまく炊けない場合があります。

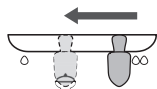


1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



○着火後すぐに、火力調節つまみをゆっくりと強火側から⊖の位置にスライドさせて合わせてください。



※火力が⊖の位置より強いとごはんはかために、火力が弱いとごはんはやわらかめに炊けます。

2 炊飯を設定する

○火力調節後すぐに炊飯キーを押してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。

ごはん → おかゆ → もっちり → 炊きこみ → 解除
ビッ ビッ ビッ ビッ ビー

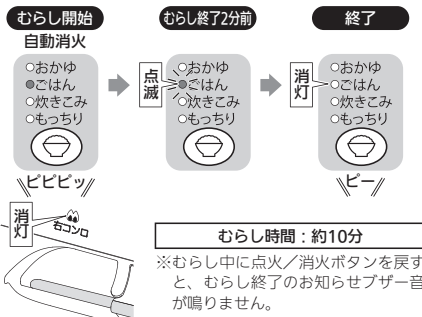
※設定を解除しても消火しません。
また、一定時間を経過すると解除できません。
解除するときは、一度火を消してください。
・自動で火力を調節します。

お知らせ

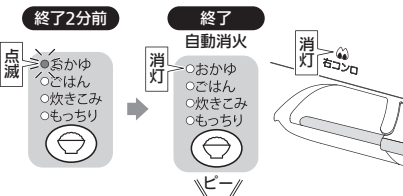
・自動火力調節中に、火力が弱火から強火に切り替わる際は、ブザー音「ビッ」でお知らせします。(23ページ)

自動で火が消える

ごはん、もっちり、炊きこみ

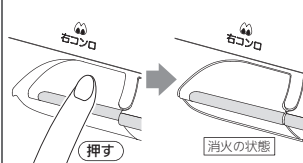


おかゆ



3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



ごはんのコツ

・むらし終了後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。
余分な水分がとび、おいしくなります。

ご注意ください

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ビッ』(5回)が鳴ります。そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

高温炒めモード (チャオコンロ)

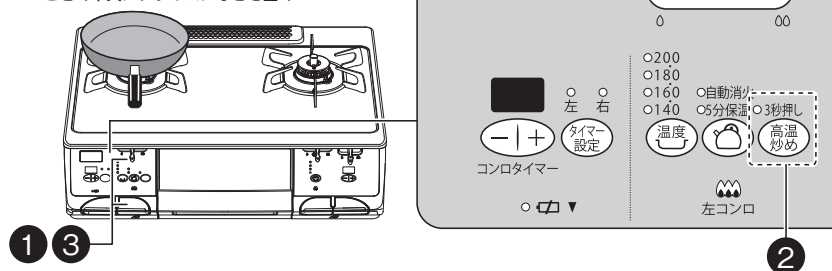
◎コンロ使用時は、その場を離れない

・直火調理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんばんに上げる料理)をする場合などは、高温炒めモードをお使いください。

※チャオコンロが左タイプで説明しています。

『コンロを使う準備』(25ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く



高温炒めモードとは

通常時より高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。

※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

警告



高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火し、火災の原因になります。

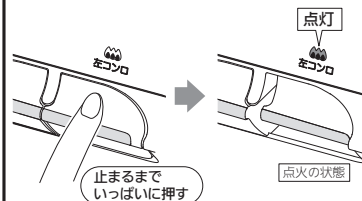
注意



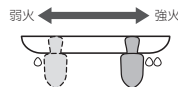
直火調理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。

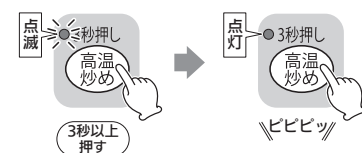


○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



2 高温炒めを設定する

○高温炒めキーを3秒以上押してください。
※押している間は点滅します。



・高温炒めモードでは、タイマーモードを同時に使用できません。
「タイマーモード」(29ページ)を参照してください。

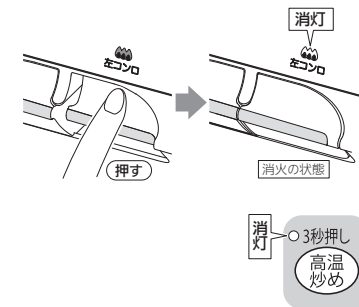
お知らせ

・自動火力調節中に、火力が弱火から強火に切り替わる際は、ブザー音『ビビッ』でお知らせします。(23ページ)

○設定を解除するときは、再度、高温炒めキーを押してください。
※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意ください

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ビビッ』(5回)が鳴ります。
そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(23ページ)

お知らせ

約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※使用中に高温炒めモードを解除して、続けて使用の場合は、はじめに点火してから約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)経過すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(各種設定の変更(カスタマイズ機能): 45ページ)

グリルを使う準備

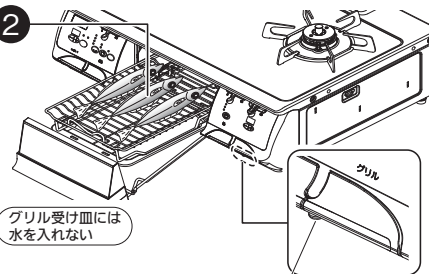
1 ガス栓を全開にする

1



2 調理物を入れて、グリルとびらを閉める

2



注意



グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。

ご注意ください

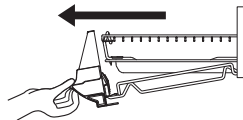
グリル焼網を裏返して使用しないでください。
調理物が焦げる原因になります。
グリル焼網の取り付けかたは、20ページを参照してください。

グリル受け皿には
水を入れない

ロックつまみ
※ロック機能(ロックの設定・解除)については
26ページを参照してください。

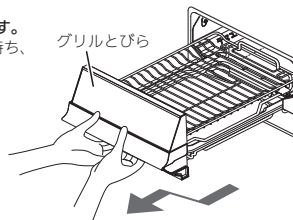
グリルの取り出しかた

- 1 グリルとびらを水平にゆっくりと止まるところまで引き出す。(グリルとびらだけが下がります。)
※グリルとびらを持ち上げて引き出すと、グリルとびらが止まらず、落下する場合があります。



- 2 両手でグリルとびら下部を支え、少し持ち上げて取り出す。
※持ち運ぶときは、グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運んでください。

グリルとびら



お知らせ

- ・グリル焼網はフッ素コート、グリル受け皿はクリアコート加工しています。キズつけないように気をつけてください。キズがつくと、コーティングがはがれる原因になります。
- ・グリル焼網、グリル焼網支持台、グリル受け皿、グリルとびら、サイドカバーの取り外しかたは、53～55ページを参照してください。

はじめてグリルを使うとき

- ・梱包部材が入っていないか確認してください。
- ・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、サイドカバーとグリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火(上火:「強火」、下火:「強火」)で約8分空焼きしてください。グリル排気口以外からも煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
- ・空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火場合があります。
- ・消火した場合(タイマー表示部「02」→「5」点滅表示)、点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻し、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

注意



サイドカバーとグリル焼網は、
グリルが冷めてから取り付ける
やけどのおそれがあります。

食材の準備

魚の下ごしらえ

- ・冷凍の魚はしっかりと解凍する。
- ・冷蔵の魚は常温でしばらくおく。
- ※しっかりと解凍して、常温にしておかないと、調理時間がかかり、生焼けになったり、安心・安全機能がはたらく場合があります。
- ・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
- ・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。



魚以外の下ごしらえ

- ・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。
- ・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。
- ※切り目や穴を開けずに焼いた場合、食材に火がついて、庫内で発火するおそれがあります。



塩焼きの下ごしらえ

- 材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。
塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。
身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
- ・さばやいわしなど脂肪分の多い背の青い魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにします。
 - ・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにします。
 - ・川魚や、いか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふる。

姿焼きなどの場合

- ・尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけたり、アルミはくで包む。
- ・切り目を入れる。
- ※切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくすることができます。



魚を焼くときは

姿焼きの場合

- ・魚は頭が奥に、尾が手前になるように置くと尾の焦げは少なくなります。

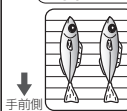
姿焼き1尾の場合

左寄りに置く



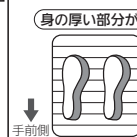
姿焼き2尾以上の場合

均等に置く



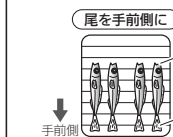
切身の場合

- ・皮側を上向きにし、身の厚い部分が奥になるように置いてください。



ししゃもなどの小さな魚の場合

- ・尾が焦げやすいので、グリル焼網の手前側に置いてください。



魚を取るときのコツ

- ・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。



お知らせ

- ・グリル焼網、グリル焼網支持台、グリル受け皿、サイドカバーは消耗品です。ご使用状態や経年変化などにより、調理物や脂汚れがとれにくくなり、コーティングがはがれる場合があります。交換部品(消耗品)<有料>として準備しております。(69ページ) お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

警告



グリル排気口の上に、ふきんやタオル、アルミはくなどをせたり、ふさがないグリル排気口の周りには、ものを置かない火災や不完全燃焼の原因になります。



脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。
※鶏肉や脂がのったさんまなどは、脂が多く出ます。
また、グリル上火バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。

注意

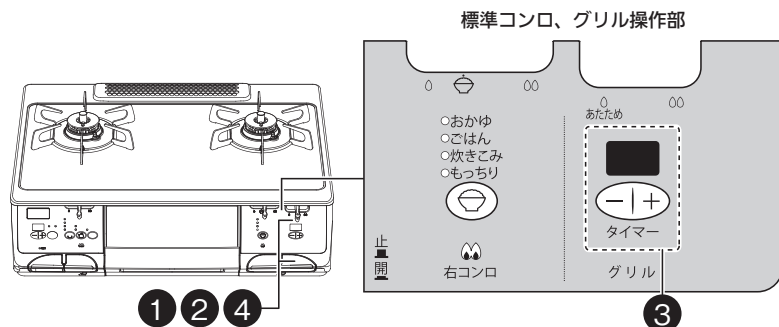


調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらなどが熱くなっており、やけどの原因になります。

グリルの使いかた

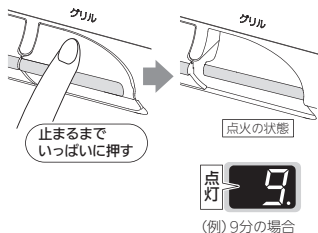
※チャオコンロが左タイプで説明しています。

➡『グリルを使う準備』(41ページ)
をよく読み、準備をする



1 点火する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい
に押し、「点火の状態」にしてください。

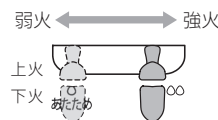


○着火すると、グリルタイマーがスタート
します。

※下火の火力調節つまみが弱火側(左側)にある
場合、つまみは強火側(右側)に動きます。
上火の火力調節つまみは動きません。
※グリル庫内の温度に応じて、6~9分を自動的
に設定します。(設定は変更できます。)
※グリルタイマーは安全のため、解除できま
せん。

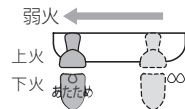
2 火力調節する

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせ
てください。



「あたため」は、冷めた揚げもの、焼き魚、焼き鳥
などのあたために適した火力です。

・火力調節つまみ上下共にゆっくりとあたための
位置にスライドさせて合わせてください。



あたため

形くずれを防止するコツ

2分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。
その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定
してください。(詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。)



お知らせ

- ・連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。
グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合(タイマー表示部「02⇄_5」点滅表示)は、しばらく
(約3分)待ってから再度点火してください。
- ・脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。

警告

鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、
上下の火力を「弱火」にして焼くようにする
グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災
のおそれがあります。

注意

焼きすぎに注意する
調理物に火がつき火災の原因になります。
グリル庫内で調理物が燃えたり、たまった
調理物や脂に引火した場合は、すぐに点火
/消火ボタンを押して消火してください。

ご注意いただきたいこと

次の魚は発火しやすいので、とくに焼きすぎに注意してください。

- ・干物や薫製、脂分の多い魚(にしん、塩さばなど)
 - ・小魚の干物(めざし、うるめいわしなど)
- 焼き時間のめやすは2~3分です。(グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。)

3 タイマーを設定する

○「+」キー、「-」キーを押して、タイマー
を設定してください。



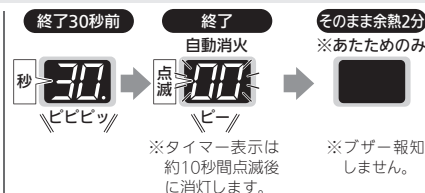
1分刻みで1~15分(最長)に設定できます。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※調理時間のめやすは、付属のクッキング
ブックをご覧ください。

あたため時間のめやす

2分	3分	4分	5分	6分	7分
				1回、さば切り身 6切	1回、あじ 4尾
			1回、ぶり切り身 6切		
		1回、から揚げ 12個			
	1回、焼き鳥 6本				
1回、かき揚げ 6個					

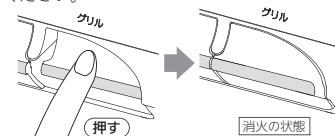
※消火後、そのまま庫内で約2分余熱であた
ためます。

タイマーが終了すると、 自動で火が消える



4 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にし
てください。



ご注意いただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを戻し忘れ
ると、1分おきにブザー音『ビッ』(5回)が鳴ります。
そのまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻して
ください。(23ページ)

各種設定の変更 (カスタマイズ機能)

カスタマイズ機能では、故障情報の表示と以下の機能の設定を変更することができます。

コンロ タイマー 表示部	設定項目	説明	グリル タイマー 表示部	設定内容
01	前回故障情報	故障状況を確認するための情報を表示します。		お知らせ表示と部位を交互に表示します。 (65ページ参照)
02	前々回故障情報			
03	コンロ消し忘れ消火機能	コンロ消し忘れ消火機能の時間を変更できます。 (全コンロ同時に変更されます)	3~12 ※1参照	30~120分 120分(初期設定)
04	湯わかしお知らせ時間	ふっとうのお知らせをするタイミングを5段階で設定できます。	1	早め
			2	やや早め
			3	標準(初期設定)
			4	やや遅め
			5	遅め
05	ごはん炊き上げ調整	ごはんの炊き加減を3段階で設定できます。	1	弱め(やわらかめ)
06	もっちり炊き上げ調整		2	標準(初期設定)
			3	強め(かため)
07	炊きこみおこげ調整	炊きこみごはんのおこげ加減を3段階で設定できます。	1	弱め(おこげ少なめ)
			2	標準(初期設定)
			3	強め(おこげ多め)
08	強火切替時のブザー音	コンロの火力を弱火から強火に自動で切り替えるときにお知らせするブザー音の有無を設定できます。	on oF	有(初期設定) 無
09		表示しますが、この設定は使用しません。		
10	設定リセット	設定変更(カスタマイズ)した設定をすべて初期設定に戻します。 ＜リセット方法＞ グリルタイマー「+」、「-」キー同時に3秒以上押し	00 (リセット完了時)	初期設定

※1: 消し忘れ消火機能の設定表示と項目

設定表示	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	初期設定
コンロ消し忘れ消火機能設定時間	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分	
通常時											
連続使用可能時間	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分	
タイマー設定可能時間	1~99分										
高温炒め時											
連続使用可能時間	30分	40分	50分	60分							
タイマー設定可能時間	1~30分	1~40分	1~50分	1~60分							

※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更した場合は、コンロの連続使用可能な時間も変更されますので注意してください。ただし、通常時のタイマーモード使用時は、タイマー設定時間を優先します。

例) コンロ消し忘れ消火機能の設定時間が90分の場合
 コンロの連続使用可能時間: 90分、高温炒めモード使用時: 60分
 タイマー設定可能時間: 1~99分、高温炒めモード使用時: 1~60分

◎設定時は、必ず機器を使用していない状態にする

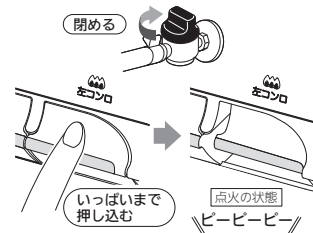
設定方法

- 1 ガス栓を閉め、鍋などを置いてからいずれかのコンロを「点火の状態」にする。

※スパーク(パチパチ)しますので、ガス栓を閉めても、配管内に残ったガスにより、着火する場合があります。

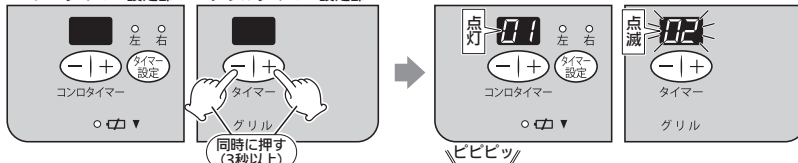
※着火しないため、ブザー音「ピーピーピー」でお知らせし、グリルタイマー表示部に「11または12や_1または_2」が点滅表示される場合があります。

※お知らせ機能により、「点火の状態」より1分経過するとブザー音「ピーピー」(5回)が鳴ります。



- 2 点火操作後、10秒以内にグリルタイマーの「+」キーと「-」キーを同時に3秒以上押す。

コンロタイマー設定部 グリルタイマー設定部 ・コンロタイマー部に項目、グリルタイマー部に内容を表示します。



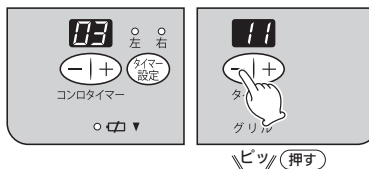
- 3 コンロタイマーの「+」キー、「-」キーを押し、コンロタイマー表示部を変更したい項目に切り替える。

例) コンロタイマー表示部03の場合



- 4 グリルタイマーの「+」キー、「-」キーを押し、グリルタイマー表示部を変更したい設定内容に切り替える。

※設定リセット(初期設定に戻す)時は、コンロタイマー部に「10」に合わせ、グリルタイマーの「+」キーと「-」キーを同時に3秒以上押してください。(ブザー音「ピー」が鳴り、「00」が点灯します。)

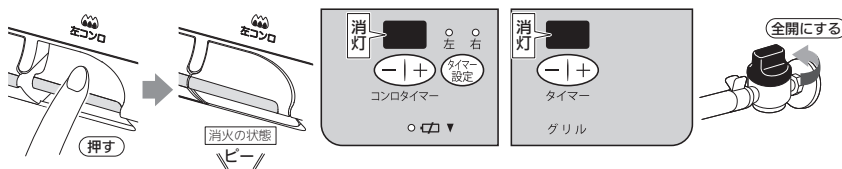


お知らせ

- ・続けて他の設定項目の内容を変更するときは、③の操作から行ってください。
- ・無操作で約30秒経過すると、ブザー音「ピー」でお知らせし、これまで設定した内容に変更されます。
- ・コンロタイマー表示部に「11または12や_1または_2」が点滅表示する場合がありますが点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻すと表示は全て消灯されます。

- 5 点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてから、お使いになるときはガス栓を全開にする。

※ブザー音「ピー」でお知らせし、設定した内容に変更されます。



お手入れ (その前に)

・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検(有料)をおすすめします。

また、煮こぼれや、誤って鍋をひっくり返すなど、機器内に多量の煮汁が入った場合は、機器の故障や、機器寿命が短くなるおそれがありますので、点検(有料)をおすすめします。

※定期点検については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

注意



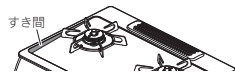
必ず守る

・お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷めてから手袋をはめて行う
とくにグリル排気口の内側、グリル庫内、コンロ下(調理台)をお手入れするときは、十分注意する
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。

・点火/消火ボタンをロックする(26ページ参照)

誤って点火/消火ボタンを押すと、やけどの原因になります。

・トッププレート枠とトッププレートの間にすき間がないか確認する
すき間がある状態でお手入れすると、トッププレート枠で指を切る
おそれがあります。



・お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん、紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
火災の原因になります。

お手入れするときのお願い

- 汚れたままにすると汚れがこびり付き、取れにくくなりますので、ご使用の都度お手入れしてください。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
- ※とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- バーナーキャップ、ごとく、グリル排気口カバー、グリル部品(グリルとびら、グリルスライドレール、グリル焼網、グリル焼網支持台、グリル受け皿、サイドカバー)は取り外して洗うことができます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ道具、洗剤について

使 っ て よ い	 スポンジたわし やわらかい布 やわらかい歯ブラシ 台所用中性洗剤
	火災の原因になるもの  可燃性スプレー、 浸透液、潤滑剤
	故障の原因になるもの  スプレー式洗剤
 使 っ て は い け な い	キズの原因になるもの  ナイロンたわし 亀の子たわし 金属たわし スポンジ たわし裏面
	変質の原因になるもの  漂白剤、 酸性洗剤、 アルカリ性洗剤 シンナー、 ベンジン、 アルコール 重曹 重曹

— トッププレート(ガラス面)のみ —

クリームクレンザー
※常用しないでください

メラミン
スポンジ

・引火するので、絶対に使用しないでください。

・直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。

・表面のキズ、はがれ、欠け、変色、変質、さび、割れの原因になります。

・表面が変質し、はがれ、変色、さび、割れ、トッププレート外周枠のはがれの原因になります。

お願い

- ・道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
- ・食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書をよく読んで、使用してください。

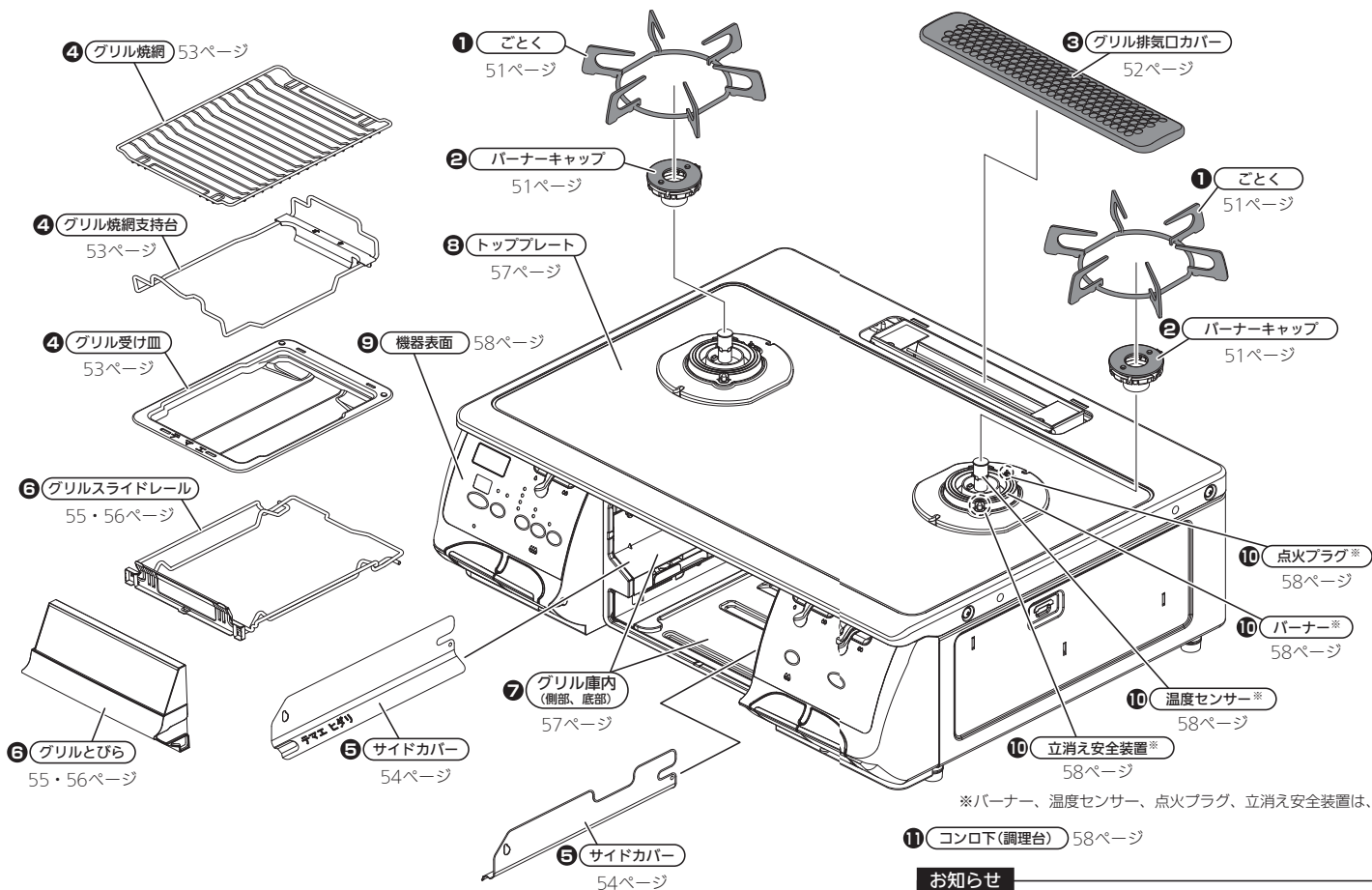
また、煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合があります。

お手入れ

お手入れできる部品・部位

◎マークの説明 (例) ① ごとく : 参照番号と部品の名称

51ページ : 取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかたの参照ページ



- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を開める
 - ・点火/消火ボタンをロックする(26ページ)
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにしてお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないこと、スムーズに開閉できることを確認する

※バーナー、温度センサー、点火プラグ、立消え安全装置は、左右コンロバーナーに付いています。

お知らせ

・ごとく、バーナーキャップ、グリル排気口カバー、グリル焼網、グリル焼網支持台、グリル受け皿、サイドカバーは消耗部品です。
交換部品(有料)として準備しております。(69ページ)
お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

1

ごとく

取り外しかた

- ・ごとくを真上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのときは・・・

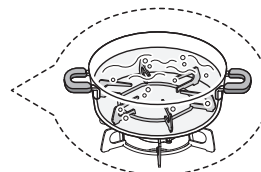
- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき！

- ・煮沸いするとさらに汚れが取れやすくなります。
水を入れた大きめの鍋で約30分加熱し、冷ましてから取り出し水洗いして、水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
- ※ごとく、グリル排気口カバー以外は、煮沸いしないでください。

取り付けかた

- ・「機器の組み立てと設置」(19ページ)を参照してください。



2

バーナーキャップ

取り外しかた

- ・バーナーキャップを真上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

取れにくい汚れのときは・・・

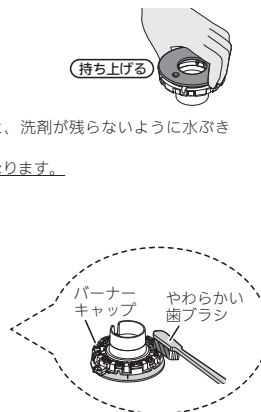
- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

目づまりしたときは

- ・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
- こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
- ※目づまりや汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

取り付けかた

- ・「機器の組み立てと設置」(19ページ)を参照してください。



- ◎お手入れの前には、
・機器が冷めていることを確認する ・ガス栓を閉める ・点火/消火ボタンをロックする(26ページ) ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

3

グリル排気口カバー

取り外しかた

- ・グリル排気口カバーを真上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが取れにくくなります。

取れにくい汚れのときは・・・

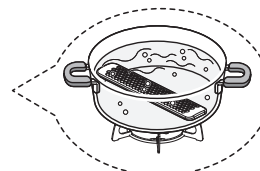
- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき！

- ・煮沸いするとさらに汚れが取れやすくなります。
水を入れた大きめの鍋で約30分加熱し、冷ましてから取り出し水洗いして、水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
- ※ごとく、グリル排気口カバー以外は、煮沸いしないでください。

取り付けかた

- ・「機器の組み立てと設置」(19ページ)を参照してください。



お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

4

グリル焼網、グリル焼網支持台、グリル受け皿

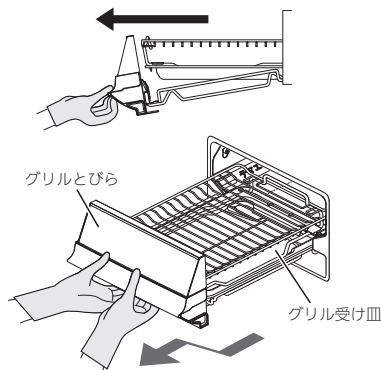
取り外しかた

①グリルとびらを水平にゆっくりと止まるところまで引き出す。(グリルとびらだけが下がります。)

※グリルとびらを持ち上げて引き出すと、グリルとびらが止まらず、落下する場合があります。

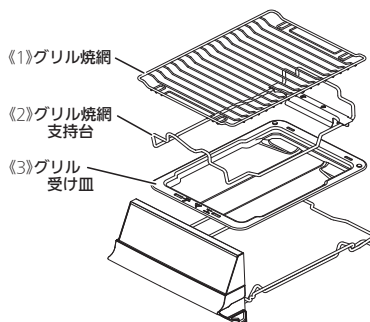
②両手でグリルとびら下部を支え、少し持ち上げて取り出す。

※持ち運ぶときは、グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運んでください。
グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。



- ③ ①グリル焼網
- ②グリル焼網支持台
- ③グリル受け皿

の順に、一つずつ持ち上げて取り外してください。



お手入れ方法

・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。

※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れが取れにくくなり、シミが残ったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはく離の原因になったり、脂汚れで発火することがあります。

取れにくい汚れのときは・・・

・台所用中性洗剤で丸洗したあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

取り付けかた

・「機器の組み立てと設置」(20ページ)を参照してください。

5

サイドカバー

取り外しかた

①右手でサイドカバーを軽く押し上げてください。

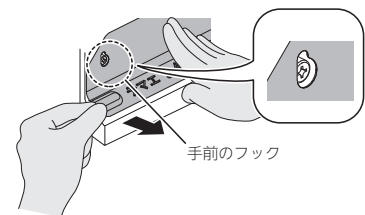
※グリル庫内の手前と奥にフックがあります。



②サイドカバー凸部を左手でつまみ、フックから取り外してください。

※サイドカバーには、(左)(右)があります。

※右図はサイドカバー(左)の場合です。
サイドカバー(右)も同様に取り外してください。



お手入れ方法

・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。

※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れが取れにくくなり、シミが残ったり、脂汚れで発火することがあります。

取れにくい汚れのときは・・・

・台所用中性洗剤で丸洗したあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

取り付けかた

・「機器の組み立てと設置」(18ページ)を参照してください。

お手入れ

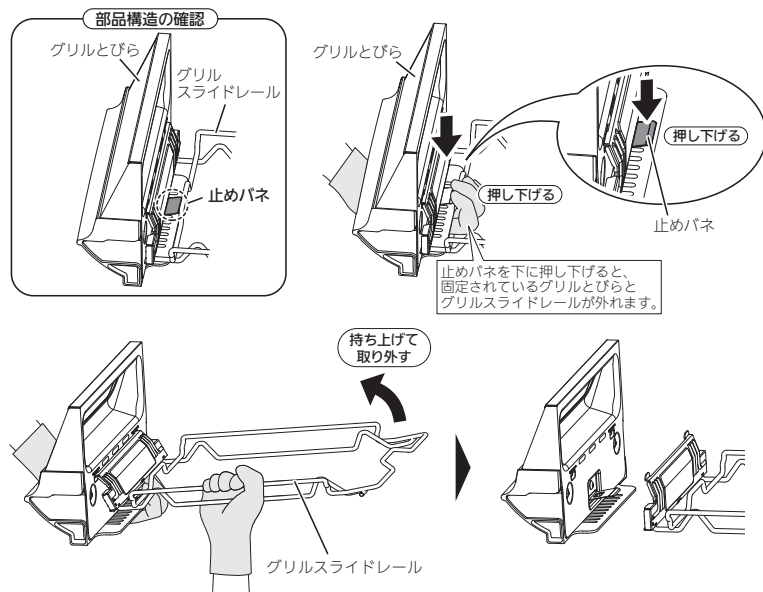
取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

6

グリルとびら・グリルスライドレール

取り外しかた

- ・グリルとびらの下から手を回し、グリルスライドレールとグリルとびらを固定している止めバネを指先で押し下げ、グリルとびら側を固定し、グリルスライドレールを下から上に持ち上げてください。
- ※無理な取り外しにより、強い力を加えると、溝部(2カ所)、凸部(2カ所)、止めバネの変形や損傷の原因となっており、グリルとびらの閉まりが悪くなったり、外れやすくなりますので、注意してください。
- (溝部、凸部の位置については、56ページ参照)
- ※グリルとびらは重たいので、バランスをくずして落とさないよう注意してください。



お手入れ方法

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れが取れにくくなり、シミが残る場合があります。

取れにくい汚れのときは・・・

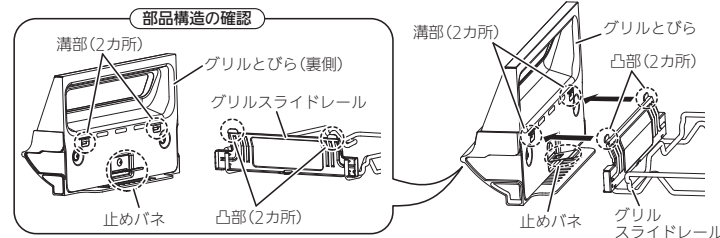
- ・台所用中性洗剤で丸洗したあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・点火/消火ボタンをロックする(26ページ)
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないこと、スムーズに開閉できることを確認する

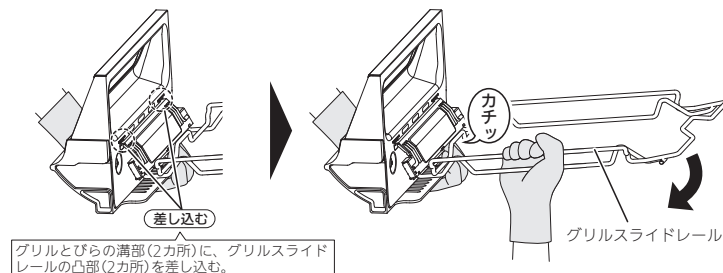
取り付けかた

- ・グリル焼網支持台およびグリル焼網、グリル受け皿を取り付けた状態では、グリルとびらは正しく取り付けできません。
- ・無理な取り付けにより、強い力を加えると、溝部(2カ所)、凸部(2カ所)、止めバネの変形や損傷の原因となっており、グリルとびらの閉まりが悪くなったり、外れやすくなりますので、注意してください。

①グリルとびらの溝部(2カ所)に、グリルスライドレールの凸部(2カ所)を差し込んでください。



②グリルスライドレールの下部を『カチッ』と音がするまで押し下げてください。



グリルとびらが閉まりにくい場合や、こすれる音がした場合は、グリルとびらが正しく取り付けされていません。そのまま押し込むと、変形や損傷の原因になりますので、正しく取り付け直してください。

お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

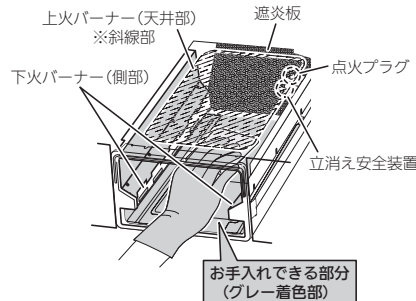
7

グリル庫内(側部、底部)

※グリル庫内の部品は取り外せません。

お手入れ方法

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。



※図はわかりやすくするため、グリル庫内天井部を透過させています。

※燃焼部(上火バーナー、下火バーナー)、遮炎板には触らないでください。燃焼部の炎口や遮炎板の穴がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。

また、グリル庫内の上火バーナー部には、立消え安全装置と点火プラグが取り付けられていますので触らないでください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

8

トッププレート

※トッププレートは取り外せません。

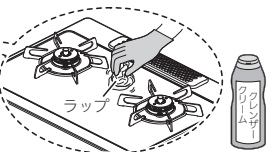
お手入れ方法

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※煮こぼれた場合は、その都度必ずふき取ってください。煮こぼれを放置されますと、バーナーリングのすき間よりトッププレート内部に煮汁が入り、トッププレートの変色の原因になります。



ガラス部の取れにくい汚れは・・・

- ・メラミン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザーをつけてこすり、ふき取ってください。
- ※クリームクレンザーは常用しないでください。また、ガラス部以外には使用しないでください。塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因になります。



お願い

トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。
貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

9

機器表面

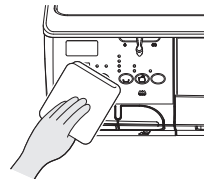
※機器表面は取り外せません。

お手入れ方法

- ・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。



10

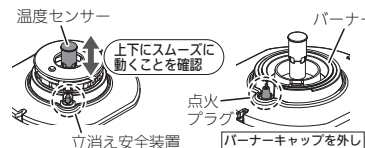
バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサー

※バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーは取り外せません。

※点火プラグ、立消え安全装置の汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

お手入れ方法

- ・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないように乾いた布で再度ふき取ってください。
- ※洗剤などは使用しないでください。
- ※温度センサーをお手入れするときは、温度センサーが曲がらないように、片手を添えてください。
- ※点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。



注意

- 温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する。
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
密着しない場合、点検、修理を依頼してください。

11

コンロ下(調理台)

お手入れ方法

- ・グリル部を取り外し(4参照)、機器前面の中央部分(右図参照)を持ち上げた状態で調理台をお手入れしてください。
- ※お手入れしている指を挟まないように注意してください。



よくあるご質問 ①

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> 点火/消火ボタンを押しても、点火しない 電池交換サインが点滅している 	<p>乾電池が消耗しているためです。</p> <p>新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。</p> <p>乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。</p>	22
<ul style="list-style-type: none"> 使用していないのにブザー音が出る 	<p>お知らせ機能がはたらいているためです。</p> <p>お知らせ機能のはたらきにより火が消えたときに、点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。</p> <p>戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。</p> <p>必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。</p> <p>※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。</p>	23
<ul style="list-style-type: none"> 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする 	<p>安心・安全機能がはたらいているためです。</p> <p>自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。</p> <p>※高温炒めキーを押すと通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。</p> <p>また、高温炒めモードでも約60分(高温で自動火力調節している状態は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。</p> <p>※自動火力調節が弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。</p>	24・39

全体

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	—	1カ所の点火操作ですべてのバーナーでスパークします。異常ではありません。	—
点火/消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	点火/消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(コンロ：最長約5秒、グリル：最長約7秒)異常ではありません。	—
点火しない	①②③④	乾電池が消耗しています。新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	22
① 点火しない	①②③④	煮こぼれなどによりコンロバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	51・58
② 点火しにくい	①②③④	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	19
③ スパーク(パチパチ)しない	①②③④	点火/消火ボタンを止まるまでいっぱいに押し、「点火の状態」にしてください。	27・43
④ 点火してもすぐ消える	①②③④	アルミはく製の受けはご使用できません。使用しないでください。	8
	①②	ガス栓を閉めていると点火できません。ガス栓を全開にしてください。	26・41
	①②	長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	—
	①②	LPガスをご使用の場合で、LPガスがなくなりかけているときは、ご使用のLP事業者にお問い合わせください。	—

全体

コンロ

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火しない(続き)	①③	ロックされていると点火できません。ロックを解除してください。	26
① 点火しない	②	グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。異常ではありません。	—
② 点火しにくい	④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく(グリルは約3分)待ってから、再度点火してください。	—
③ スパーク(パチパチ)しない	—	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	—
④ 点火してもすぐ消える	—	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	—
すぐに消火しない	—	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。	48
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	①②	ごく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。ごくなどは消耗部品です。交換部品として販売しています。	69
部品が変色する	②	煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合がありますが、ご使用上問題ありません。	—
① 表面が変色する	③	ごくくとトッププレートが接触している場所に、跡が付くことがあります。ご使用上問題ありません。	—
② ごくくが変色する	—	ごくくとトッププレートが接触している場所では、トッププレート表面の模様は摩耗することがありますが、ご使用上問題ありません。	—
③ トッププレートに跡が付く	—	グリルからの熱でトッププレートが熱くなる場合があります。また、1カ所だけのコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。使用中や使用直後はトッププレートに触らないよう注意してください。	9
トッププレート表面の模様が薄くなったり、消えたりする	—	使用中は換気してください。	9
トッププレートが熱くなる	②⑤	火力調節つまみをはやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。異常ではありません。ゆっくり操作してください。	—
炎の状態がおかしい	②	加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。	—
① 炎が安定しない	①②③④⑤⑥	火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。	51・58
② 炎が黄色い、赤い	①②③④⑤⑥	煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、正常に燃焼しなくなる場合があります。お手入れしてください。	19
③ 異常音をたてて燃える、消える	①②③④⑤⑥	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	19
④ 炎が均一でない	①②③④⑤⑥	風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	10・16
⑤ 使用中炎が消える	②④⑤⑥	アルミはく製の受けはご使用できません。使用しないでください。	8
⑥ 鍋にすずがつく	①④	バーナーの炎が一部短くなっています。異常ではありません。	—
	①	複数のバーナーを同時に使用すると、炎がゆらぐことがあります。異常ではありません。	—

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

よくあるご質問 ②

次の現象に当てはまらないとき、また如置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
炎の状態がおかしい(続き) <small>ご質問の詳細</small> ② 炎が黄色い、赤い ⑤ 使用中炎が消える	②	グリル使用時にコンロを使用すると、調理物の塩分(ナトリウム)やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。	—
	⑤	弱火の状態で、グリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	15
市販の焼網が使えない	—	焼きなすやもちはグリルで調理してください。グリルに入らない大きなすやパブリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火調理(あぶりも)してください。(チャオコンロ)	39
コンロ使用時に… <small>ご質問の詳細</small> ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底がひどく焦げついて消火する	①②③④⑤	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。 鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	25 6・11 58
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。 しばらく待ってから再度点火してください。	24
	①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度がかわります。 ホーロー製の鍋や、カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。 鍋底が焦げついていないか確認してください。 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	24・25 24
		コンロタイマーが終了すると自動的に消火します。再度点火してください。	29
		点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動的に消火し、消し忘れを防ぎます。	23
	①	冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。 無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	— 25
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動的に消火します。 弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	24・39
	⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	—
	①②	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。 油の量は、500～1000mLが適切です。	6・11
	①	鍋の形状や材質、油の量によっては油の温度が設定温度より高めになったり低めになったりする場合があります。設定温度を加減してお使いください。	25・31
温度キープモード使用時に… <small>ご質問の詳細</small> ① 揚げものがうまくできない ② 焼きものがうまくできない ③ 温度設定表示が点滅のまま変わらない	②	焼きものをしたときの焼き色は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。設定温度を加減してお使いください。	32
	③	使用中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかり、その間点滅が続きます。	31・32

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
湯わかしモード使用時に… <small>ご質問の詳細</small> ① お湯がぬるい ② お知らせが遅い ③ ふきこぼれる	①②③	鍋が湯わかしに適しているか確認してください。 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。 水の量は、500～2000mLでやかんや鍋の最大容量の6～7割が適切です。 湯わかしお知らせ時間を変更できます。 設定を変更してください。	25・33 6・11 25・33 45
	①②③④	お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。 加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりすると、お知らせが遅くなったり、ふきこぼれる原因になります。	34
	①	火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火する場合があります。中火以上でご使用ください。 エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たると、途中消火したり、ふっとうする前に保温、消火する場合があります。風が当たらないように配慮して使用してください。	10・16
炊飯モード使用時に… <small>ご質問の詳細</small> ① ふきこぼれる ② ごはんがかたい ③ ごはんがやわらかい ④ ごはんが焦げる ⑤ 誤って途中で消火してしまった		鍋が炊飯に適しているか確認してください。 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	25・36 6・11 36
	①②③④	お米の量や水量を正しく計量してください。 ※炊きこみごはんの場合は、お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。 具はお米の上にのせて炊いてください。	35
		ごはん・もっちり炊きあげ調整、炊きこみおこげ調整ができます。設定を変更してください。 火力を炊飯位置に正しく調節してください。 火力が炊飯位置より強火側の場合は、ごはんがかたくなり、弱火側の場合は、やわらかくなります。	45 37
	①②④	よく洗米してください。 無洗米を使用する場合は、1～2回洗米し、3%程度多めに水を入れて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	35
	②③	お米の銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。 エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たると、途中消火したり、炊きムラの原因になります。 風が当たらないように、配慮して使用してください。	10・16 38
	②	洗米したあと必ず30分以上(冬場は1時間以上)、水に浸してください。 炊飯途中で水をたしたり、鍋のふたを開けると、うまく炊けない場合があります。 自動消火したあと、約10分むらしが必要です。 むらしをしないと美味しく炊きあがりません。	35 38
	③	むらし後、ごはんをほぐしながら底からかき混ぜると、余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。	38
	⑤	もう一度炊飯モードで炊いてください。 水分が少ない状態で再点火した場合は、やわらかくなる場合や、焦げつきが強くなったり、芯が残る場合があります。 ※おかゆの場合は、自動では炊けません。様子を見ながら弱火(手動)で炊いてください。	37

よくあるご質問 ③

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
グリル使用時に… ご質問の詳細 ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラ ④ 煙が出る ⑤ 調理中に消火する	②③ ④⑤	グリルとびらは確実に閉めてください。	41
	①② ③	調理物の数や形状によって、置きかたを調節してください。 調理物に合った火力に調節してください。	42
	②③	グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。 また、グリル排気口カバーの上に鍋などを置いたり、エアコンや扇風機などの風が当たらないように配慮して使用してください。	19
	①	みそ漬けややす漬けの魚は、焦げやすいので、みそややすは取ってから焼いてください。	42
	②	冷凍の調理物はしっかりと解冻し、冷蔵の調理物は常温でしばらく置いてください。	
	④	脂の多い調理物を焼くと煙が多く出るため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。 異常ではありません。	—
	④	初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、グリル庫内の金属部品に残った加工油によるものです。異常ではありません。	41
	④	グリル庫内やグリル受け皿が汚れていないか確認し、お手入れしてください。 残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。	53
	⑤	グリルタイマーが終了すると自動的に消火します。 再度点火してください。	43
	⑤	連続の使用などでグリル庫内が高温になると、グリル過熱防止センサーがはたらき自動的に消火する場合があります。グリル庫内が冷めるまで、しばらく(約3分)待ってから使用してください。 グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かないでください。 グリル上バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。	24 12・42
グリル使用中に、調理物の脂の『パチパチ、ジュージュ』とはねる音がある	—	調理物などに含まれている水分が油と接触して、蒸発する音です。 異常ではありません。	—
グリル点火時に「ポツ」と音がする	—	グリルがあたまった状態で点火すると音がする場合がありますが、ガスがバーナーに着火するときの音です。 異常ではありません。	—
グリル使用中に「ポッポッポツ」と音がする	—	火力により、「ポッポッポツ」と音がする場合がありますが、燃焼するときの音です。異常ではありません。	—

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
使用時に『ビー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	—	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	22
乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	—	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	22
ガスのにおいがする いやなにおいがする	—	すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 ゴム管がきっちりと接続されているか確認してください。 <u>ガス漏れの原因になります。</u>	7
	—	ゴム管にひび割れや穴があいていないか確認してください。ひび割れや穴があいている場合は、ゴム管を交換してください。 <u>ガス漏れの原因になります。</u>	21
	—	風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	10・16
	—	バーナーキャップなどに煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。 周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがいないか確認してください。	51 8
使用中、消火後に音がする ご質問の詳細 ① 消火後に『ピピッ』(5回)とブザー音がする ② 『ボン』と音がする ③ 『カチツ』と音がする ④ キシミ音がする ⑤ 『シャー』と音がする ⑥ 点火初期に『ポッポツ』と音がする	①	点火/消火ボタンを戻し忘れていないか確認してください。 点火/消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。 ※タイマーモードや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。 <u>戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。</u> ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	23
	②	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。 異常ではありません。	—
	③	バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	19
	④	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	—
	⑤	点火後や消火後にキシミ音がしますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。 異常ではありません。	—
	⑥	コンロバーナー使用中『シャー』と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。 機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。 異常ではありません。	—

ブザー報知・お知らせ表示

表示(数字)は、コンロタイマー表示部またはグリルタイマー表示部に表示されます。

表示は、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻すまで点滅が続きます。

ブザー音	お知らせ表示	部 位	表示箇所	内 容	原 因	処置と再使用時の注意	参照ページ
《ピッ》 (5回)	—	コンロ、グリル	—	点火／消火ボタン戻し忘れ ブザーの作動	タイマーや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンが「点火の状態」のままになっている。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。	23
《ピー》 (1回)	—	コンロ	—	消し忘れ消火機能の作動	点火後、約120分連続使用した場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、再度点火してください。	23
	—	チャオコンロ	—	高温炒めモードで消し忘れ 消火機能の作動	設定後、約60分連続使用した場合など。		39
	00 (10回点滅)	コンロ	コンロタイマー部	コンロタイマー終了	タイマー設定時間が終了したとき。		29
	00 (10回点滅)	グリル	グリルタイマー部	グリルタイマー終了			43
		—	—	電池交換のお知らせ	乾電池の容量が少なくなってきたとき。	乾電池を交換してください。	22
《ピー》 (2回)		<div>1 2 5</div> <div>左コンロ 右コンロ グリル</div>	コンロタイマー部	立消え安全装置の作動	炎のふき消え、煮こぼれした場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 ガス栓が閉まっていると着火しません。 また、バーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、着火しない場合があります。お手入れしてください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。 グリルを続けて使用する場合は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	23・58
《ピー》 (3回)		<div>1 2 5</div> <div>左コンロ 右コンロ グリル</div>	コンロタイマー部	点火時に着火しなかった	ガス栓が閉まっている、煮こぼれによる炎口つまり、煮こぼれによる点火プラグの汚れ、着火不良など。		26・58
《ピー》 (4回)		コンロ、グリル	使用部位のタイマー部	点火／消火ボタンを長く押し続けている	点火／消火ボタンを長く押し続けたとき。	手を離してください。 点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。	—
		左コンロ	コンロタイマー部	天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動	調理油の過熱、焦げつき、消し忘れによる過熱、空焼きなど。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 よくあるご質問② 「コンロ使用時に…」 ①調理中に消火する ⑤鍋底がひどく焦げついて消火するを確認してください。 天ぷら油過熱防止機能がはたらいて消火した場合は、温度センサーが高温のため、点火しても手を離すと消火する場合があります。冷めるのを待ってから再度点火してください。	24・61
		右コンロ					
		グリル	グリルタイマー部	グリル過熱防止センサーの作動	グリルの空焼き、消し忘れ、調理物が少ない場合、連続して使用した場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 消火直後(グリル過熱防止センサーが高温のままの状態)は、点火してもすぐに消火します。 グリル過熱防止センサーが冷めるまで、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	24・44
《ピー》 (10秒間 繰り返し)		<div>1 2 5 0</div> <div>左コンロ 右コンロ グリル コンロ、グリル</div>	コンロタイマー部	操作部、温度センサー、 グリル過熱防止センサーの故障	部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。	—
ブザーが 鳴り続ける 《ピー》 (約10秒 連続)		<div>1 2 5 0</div> <div>左コンロ 右コンロ グリル コンロ、グリル</div>	コンロタイマー部	電子部品の故障			

上記の処置方法で直らないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

長期間使用しない場合／仕様

長期間使用しない場合

- ・ガス栓を閉め、乾電池を取り出してください。
乾電池を入れたままにすると、乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
 - ・機器が冷めていることを確認し、各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 再度使用される場合は、ビニールなどを完全に取り外し、乾電池を入れてから使用してください。

仕様

商 品 名		据置型ガラストップコンロ	
型 番		210-H050型	210-H051型
ト ッ プ プ レ ー ト 仕 様		ブラック	
前 面 パ ネ ル 仕 様		シルバー	
型 式 名		LW2273TL	LW2273TR
点 火 方 式		連続スパーク点火	
安 心 ・ 安 全 機 能	全バーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・立消え安全装置 ・ロック機能 	
	コンロバーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・コンロ消し忘れ消火機能 ・調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能） ・焦げつき自動消火機能 	
	グリルバーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・グリル消し忘れ消火機能 ・グリル過熱防止センサー 	
お 知 ら せ 機 能	お知らせ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・点火／消火ボタン戻し忘れブザー ・コンロ強火切替お知らせブザー ・コンロ使用中お知らせブザー 	
	付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書（保証書付） ・クッキングブック ・お問い合わせ先一覧表 ・アルカリ乾電池（単1形：2個） ・グリルあたたためガイドシール 	
	外 形 寸 法	高さ180mm×幅595mm×奥行511mm	
質 量		17.5kg	

使 用 ガ ス 使 用 ガ ス グ ル ー プ	1時間当たりのガス消費量kW				ガス接続口
	個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量	
	チャオコンロ	標準コンロ	グリル		
都市ガス（13A）用	4.20 {3,610kcal/h}	2.97 {2,550kcal/h}	2.03 {1,750kcal/h}	8.14 {7,000kcal/h}	φ9.5mm ガス用ゴム管
L P ガ ス 用	4.20 {0.301kg/h}	2.97 {0.213kg/h}	2.12 {0.152kg/h}	8.14 {0.583kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス／廃棄時のお願い

アフターサービス

◎保証について

- ・取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- ・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。

◎補修用性能部品の保有期間

- ・補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。
- ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

◎修理を依頼するときは

- ・『よくあるご質問』（59～64ページ）、『ブザー報知・お知らせ表示』（65～66ページ）を調べていただき、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）にお問い合わせください。
- ・依頼される際は、次のことをお知らせください。
 - ①商品名：据置型ガラストップコンロ
 - ②大阪ガス型番：機器前面左パネル上面に貼付のシールに表示（例：210-H050型）
 - ③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
 - ④ご住所、お名前、電話番号、道順（できるだけ詳しく）

◎転居されるときは

- ・ガスには都市ガス（数種類）およびLPガスの区分があります。
 - ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にお問い合わせください。
- この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

廃棄時のお願い

お願い

- ・当機器は、乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り出してください。
- そのままにしておきますと、思わぬ事故の原因になります。

交換部品(消耗部品)／別売部品

交換部品(消耗部品)

(お客さまにて取り替え可能な部品)

- ・下記の部品(有料)は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名 称	形 状	本体価格(税別)	部品コード、型番
ごとく		¥1,700	1110H5470950
バーナーキャップ		¥1,500	1210H5100955
グリル排気口カバー		¥1,100	1110H3620954
グリル焼網		¥3,800	1210H5100959
グリル焼網支持台		¥1,500	1210H5100977
グリル受け皿		¥1,500	1210H5100958
サイドカバー(左)		¥1,100	1210H5100961
サイドカバー(右)		¥1,100	1210H5100962

- ・2016年3月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※上記本体価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税が必要となります。
- 詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。
- アルカリ乾電池(単1形)は電気店などでお買い求めください。
- ・交換部品(消耗部品)の詳細は『各部のなまえ』(3~4ページ)を参照してください。

別売部品

- ・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

名 称	形 状	本体価格(税別)	部品コード、型番
炊飯専用鍋(3合炊き)		¥3,800	111-H002型
炊飯専用鍋(5合炊き)		¥5,200	LP 0150型*
グリルプレート(セット)		¥2,500	1210H5100981
グリルプレート		¥2,200	1210H5100979
ホルダー		¥ 300	1210H4100980
グリルプレート クッキングブック		¥ 300	1210H4101894

- ・2016年3月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※上記本体価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税が必要となります。
- 詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。
- *: (株)ハーマンの取扱商品です。